

2023年度

九州歯科大学 シラバス

目次

大学院

歯学研究科 口腔保健学専攻

生命・医療倫理学	邵 仁浩	5
	秋房 住郎	
	辻澤 利行	
	中道 敦子	
口腔保健科学特論	秋房 住郎	7
	園木 一男	
	中道 敦子	
生命科学論文作成概論	園木 一男	10
	辻澤 利行	
内科学特論	園木 一男	12
口腔保健福祉学特論 I	秋房 住郎	14
細胞分子生物学特論	秋房 住郎	17
分子栄養学特論	辻澤 利行	20
	中道 敦子	
医療政策学特論	邵 仁浩	23
	中道 敦子	
高齢者口腔機能支援学特論	泉 繭依	25
専門的口腔ケア特論	中道 敦子	27
	船原 まどか	
摂食嚥下リハビリテーション学特論	藤井 航	30
歯科疫学・統計学特論	邵 仁浩	33
細胞分子生物学演習	秋房 住郎	35
	辻澤 利行	
分子栄養学演習	辻澤 利行	39
高齢者口腔機能支援学演習	泉 繭依	40
専門的口腔ケア演習	中道 敦子	43
	船原 まどか	
地域歯科衛生活動演習	邵 仁浩	46
	辻澤 利行	
	中道 敦子	
	泉 繭依	
	船原 まどか	
	本田 尚郁	
摂食嚥下リハビリテーション学セミナー	藤井 航	49
歯科疫学・統計学演習	邵 仁浩	50
口腔科学研究 (担当教員: 邵 仁浩)	邵 仁浩	52
口腔科学研究 (担当教員: 秋房 住郎)	秋房 住郎	53
口腔科学研究 (担当教員: 園木 一男)	園木 一男	54
口腔科学研究 (担当教員: 辻澤 利行)	辻澤 利行	55
口腔科学研究 (担当教員: 中道 敦子)	古株 彰一郎	56
	辻澤 利行	
	中道 敦子	
口腔科学研究 (担当教員: 藤井 航)	藤井 航	57
口腔科学研究 (担当教員: 船原まどか)	船原 まどか	58
口腔科学研究 (担当教員: 泉 繭依)	泉 繭依	59
Life and Medical Ethics	Soh I.	60
	Akifusa S.	
	Tsujisawa T.	
	Nakamichi A.	
Advanced Oral Health Sciences	Akifusa S.	62
	Sonoki K.	
	Nakamichi A.	
How to Write Life and Medical Article	Sonoki K.	65

	Tsujisawa T.	
Advanced Internal Medicine	Sonoki K.	67
Advanced Oral Health and Welfare Promotion I	Akifusa S.	69
Advanced Cellular Molecular Biology	Akifusa S.	72
Advanced Molecular Nutrition	Tsujisawa T.	75
	Nakamichi A.	
Advanced Medical Policy	Soh I.	78
	Nakamichi A.	
Advanced Functional Support for Elderly persons	Izumi M.	80
Advanced Professional Oral Health Care	Nakamichi A.	82
	Funahara M.	
Dysphagia Rehabilitation (Advanced)	Fujii W.	85
Advanced Oral Epidemiology and Statistics	Soh I.	88
Seminar of Cellular Molecular Biology	Akifusa S.	90
	Tsujisawa T.	
Seminar of Molecular Nutrition	Tsujisawa T.	94
Seminar of Functional Support for Elderly persons	Izumi M.	95
Seminar of Professional Oral Health Care	Nakamichi A.	98
	Funahara M.	
Seminar of Community Dental Hygiene Practice	Soh I.	101
	Tsujisawa T.	
	Nakamichi A.	
	Izumi M.	
	Funahara M.	
	Honda H.	
Seminar of Dysphagia Rehabilitation	Fujii W.	104
Seminar of Oral Epidemiology and Statistics	Soh I.	105
Specialized Study for Oral Health (Soh I.)	Soh I.	107
Specialized Study for Oral Health (Akifusa S.)	Akifusa S.	108
Specialized Study for Oral Health (Sonoki K.)	Sonoki K.	109
Specialized Study for Oral Health (Tsujisawa T.)	Tsujisawa T.	110
Specialized Study for Oral Health (Nakamichi A.)	Kokabu S.	111
	Tsujisawa T.	
	Nakamichi A.	
Specialized Study for Oral Health (Fujii W.)	Fujii W.	112
Specialized Study for Oral Health	Funahara M.	113
Specialized Study for Oral Health	Izumi M.	114

大学院

歯学研究科 口腔保健学専攻

2023年度

生命・医療倫理学 (Life and Medical Ethics)

開講年次	1年	期区分	前期	必修/選択	基礎科目	単位数	1.0
授業方法	講義・演習	時間数	16.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	邵 仁浩, 秋房 住郎, 辻澤 利行, 中道 敦子						
	中道 敦子 秋房 住郎 邵 仁浩 辻澤 利行						

授業の概要

研究を遂行するにあたって必要となるヒトおよび実験動物等に対する倫理の実際と理論について講義する。保健医療福祉に関する倫理にかかる諸概念を講義する。また、歯科衛生士の職業倫理について講義する。

学生の到達目標

1. 生命科学研究における倫理について説明できる。
2. 臨床研究における倫理について説明できる。
3. 医療人として涵養すべき倫理について説明できる。
4. 歯科衛生士の倫理問題について説明できる。
5. 法令で規定する臨床試験の実施基準を理解する。

テキスト

タイトル	著者	出版社

参考書

タイトル	著者	出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	60%
演習課題	40%

講義の事後レポート（1～6回分）6回×10点、演習課題の提出（7、8回分）2回×20点で評価する。

その他

学生相談：随時

2023年度

生命・医療倫理学 (Life and Medical Ethics)

開講年次	1年	期区分	前期	必修/選択	基礎科目	単位数	1.0
授業方法	講義・演習	時間数	16.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	邵 仁浩, 秋房 住郎, 辻澤 利行, 中道 敦子						
	中道 敦子 秋房 住郎 邵 仁浩 辻澤 利行						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	医療人が涵養すべき医の倫理に関する基本的知識と態度 医療人が涵養すべき医の倫理に関する基本的知識と態度について、国の指針等を踏まえながら学習する。	講義 (Teams, Moodle)	邵	事前：医療倫理に関する国の指針 事後：事後レポートの提出
2	人間を対象とした研究で、疫学研究および臨床研究（臨床試験を含む）に係る法令・指針 医療法や医薬品医療機器等法に加え、人間を対象とした疫学研究および臨床研究については、国から各種指針が示されており、それらを踏まえ学習する。	講義 (Teams, Moodle)	邵	事前：疫学研究および臨床研究の国の指針 事後：事後レポートの提出
3	動物を用いた実験研究を遂行するにあたり関連する法律・指針 動物を用いた実験研究を遂行するにあたり、動物愛護に関連する法律・指針等とこれらの精神に基づく3Rの考え方について学修する。さらに、動物実験における感染症対策や国外における近年の傾向についても学ぶ。	講義 (Teams, Moodle)	辻澤	事前：動物実験研究の国の指針 事後：事後レポートの提出
4	遺伝子実験を遂行するにあたり関連する法律・指針 遺伝子実験にかかる法令・指針について学修する。	講義 (Teams, Moodle)	辻澤	事前：遺伝子実験研究の国の指針 事後：事後レポートの提出
5	歯科衛生士が臨床や保健活動で会得しておくべき倫理観について、その理論と実際 歯科衛生士が歯科医療の臨床および歯科保健活動で会得しておくべき倫理観について、その理論と実際について講義する。また歯科衛生士の倫理規範、守秘義務、法的義務についても学習する。	講義 (Teams, Moodle)	中道	事前：歯科衛生士の倫理綱領 事後：事後レポートの提出
6	保健・福祉に係る倫理についての理論と社会的通念の比較を通して、歯科衛生士としてのあるべき姿 保健・福祉に係る倫理についての理論に基づき、医療人として求められる歯科衛生士としてのあるべき姿を学習する。	遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：医療倫理の4分割、ケアの倫理 事後：事後レポートの提出
7	倫理申請の実際1（申請書の作成） ヒトおよび動物を用いた研究を行うのに必要な倫理申請の実際について、九州歯科大学倫理審査の様式を用いて作成する。	演習 (Teams, Moodle)	中道、秋房、邵、辻澤	事前：九州歯科大学の倫理審査申請の様式 事後：倫理審査申請書の作成
8	倫理申請の実際2（倫理的研究方法） ヒトおよび動物を用いた研究を行うのに必要な倫理的方法について実例を示しながら理解する。	演習 (Teams, Moodle)	中道、秋房、邵、辻澤	事前、事後：倫理審査申請書の提出

2023年度

口腔保健科学特論 (Advanced Oral Health Sciences)

開講年次	1年	期区分	前期	必修/選択	基礎科目	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 園木 一男, 中道 敦子						
	中道 敦子 秋房 住郎 園木 一男 邵 仁浩						

授業の概要

口腔保健学に関する最新の知見についてオムニバス形式で講義する。

学生の到達目標

1. 歯科診療における感染予防対策の実際や最近の知見について説明できる。
2. 診療情報の管理や提供、医療広告に関する国の指針等について説明できる。
3. 口腔健康学に関わる理論とアプローチについて説明できる。
4. 免疫学的観点から踏まえた歯科的疾患と全身的健康状態の関わりについて説明できる。
5. ICFからみた健康の総体についての観念について説明できる。
6. 歯周疾患と全身疾患との関連性及び全身疾患を有する患者の歯周治療について説明できる。
7. 高齢者における口腔保健の最近の知見について説明できる。
8. 人生の最終段階における口腔保健の最近の知見について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社

参考書

タイトル	著者	出版社
医療六法		中央法規出版
ザ・ペリオドントロジー	和泉雄一 他	永末書店
歯周病の臨床	長谷川紘司 他	医歯薬出版
高齢者への戦略的歯科治療	北村知昭 他編	医歯薬出版
口腔の緩和医療・緩和ケア	太田洋二郎 他編	永末書店
歯科のための内科学	西田次郎 他	南江堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	90%
口頭試問	10%

事後レポート15回×6点、試問10点により評価する。

その他

学生相談：随時

2023年度

口腔保健科学特論 (Advanced Oral Health Sciences)

開講年次	1年	期区分	前期	必修/選択	基礎科目	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 園木 一男, 中道 敦子						
	中道 敦子 秋房 住郎 園木 一男 邵 仁浩						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	診療情報の管理や提供 I 患者情報や医療機関情報の種類、医療機能情報提供制度、医療に関する広告、診療情報の提供に関する指針等について学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：医療法 事後：事後レポートの提出
2	診療情報の管理や提供 II 各種診療記録（診療録、診断書、処方せん、歯科衛生士業務記録等）の法令上の位置づけ及び記載のあり方、医療情報システムの安全管理等について学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：医療法 事後：事後レポートの提出
3	高齢者医学その1 老化、高齢者の病気の特徴について学修する。	講義 (Teams, Moodle)	園木	事前：高齢者の病気の特徴 事後：事後レポートの提出
4	高齢者医学その2 高齢者の薬物療法、超高齢社会における医学的・社会的問題について学修する。	講義 (Teams, Moodle)	園木	事前：高齢者の医学的・社会的問題 事後：事後レポートの提出
5	歯科診療における感染予防対策の実際や最近の知見 I 一般歯科診療における感染の危険性とその対策を学習する。	講義 (Teams, Moodle)	辻澤	事前：歯科診療における感染予防対策 事後：事後レポートの提出
6	歯科診療における感染予防対策の実際や最近の知見 II 特にHIVとHBV及びHCVに対する感染とその対策を学習する。	講義 (Teams, Moodle)	辻澤	事前：歯科診療における感染予防対策 事後：事後レポートの提出
7	高齢者における口腔保健 高齢者における口腔保健の実際と最近の知見について学習する	講義 (Teams, Moodle)	藤井	事前：高齢者における口腔保健 事後：事後レポートの提出
8	人生の最終段階における口腔保健 人生の最終段階における口腔保健の実際と最近の知見について学習する。	講義 (Teams, Moodle)	藤井	事前：終末期の口腔保健 事後：事後レポートの提出
9	口腔健康学に関わる理論とアプローチ 健康信念モデル、変化のステージモデルなどの理論を用いて、口腔保健教育の実際について学習する。	講義 (Teams, Moodle)	中道	事前：健康信念モデル、変化のステージモデル 事後：事後レポートの提出
10	口腔健康学に関わる理論とアプローチ 2 口腔保健分野における各理論の実際の活用について学習する。	講義 (Teams, Moodle)	中道	事前：健康信念モデル、変化のステージモデル 事後：事後レポートの提出
11	免疫学的観点から踏まえた歯科的疾患と全身的健康状態の関わり 歯科的疾患と全身的健康状態の関わりについて、自然免疫の観点から学ぶ。	講義 (Teams, Moodle)	秋房	事前：自然免疫 事後：事後レポートの提出
12	ソーシャルキャピタルと口腔保健 地域におけるソーシャルキャピタルが口腔保健に及ぼす影響について学習する。また、健康格差の問題についても触れる。	講義 (Teams, Moodle)	秋房	事前：ソーシャルキャピタル 事後：事後レポートの提出
13	ICFからみた健康の総体 ICFからみた健康の総体についての観念を学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：ICF 事後：事後レポートの提出

2023年度

口腔保健科学特論 (Advanced Oral Health Sciences)

開講年次	1年	期区分	前期	必修/選択	基礎科目	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎, 園木 一男, 中道 敦子						
	中道 敦子 秋房 住郎 園木 一男 邵 仁浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
14	歯周疾患と全身疾患との関連性及び全身疾患を有する患者の歯周治療について (1) 歯周疾患と全身疾患との関連性について学習する。	講義 (Teams, Moodle)	邵	事前：歯周疾患と全身疾患との関連 事後：事後レポートの提出
15	歯周疾患と全身疾患との関連性及び全身疾患を有する患者の歯周治療について (2) 歯周疾患関連の全身疾患での歯周治療法を学ぶ。	講義 (Teams, Moodle)	邵	事前：歯周疾患と全身疾患との関連 事後：事後レポートの提出

2023年度

生命科学論文作成概論 (How to Write Life and Medical Article)

開講年次	1年	期区分	前期	必修/選択	基礎科目	単位数	1.0
授業方法	講義	時間数	16.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男, 辻澤 利行						
	園木 一男、辻澤 利行						

授業の概要

学術論文における表題、著者欄、抄録、序論、対象と材料と方法、結果と観察、考察、謝辞、引用文献の書き方および図表の作成方法について理解する。あわせて文献探索や原稿校正の方法、著者として必要な倫理について学ぶ。

学生の到達目標

1. 著者としての倫理的判断ができる。
2. 論文の種類と構成を説明できる。
3. 論文として相応しい文体の使用、図表の作成、文献の引用ができる。
4. 論文に用いられる略語、記号、用語が説明できる。
5. 編集者や校閲者の指摘を理解し校正することができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
講義ごとに資料を配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

点数配分：レポート100点で8回の平均点で評価する。レポートの評価はルーブリック評価表に基づいて行う。

その他

学生相談：8：30～17：15 メール推奨

2023年度

生命科学論文作成概論 (How to Write Life and Medical Article)

開講年次	1年	期区分	前期	必修/選択	基礎科目	単位数	1.0
授業方法	講義	時間数	16.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男, 辻澤 利行						
	園木 一男、辻澤 利行						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	著者としての倫理 研究者が社会において守るべき（とくに論文として発表する際の）倫理について学ぶ。	講義	園木	【事前学修】 Authorship 【事後学修】 事後レポートの提出
2	論文の種類 研究論文、総説論文、症例報告、あるいは口頭発表やポスターを基盤にする抄録などについて学ぶ。	講義	園木	【事前学習】 原著 【事後学修】 事後レポートの提出
3	論文の構成 表題、著者、抄録、序論、材料と方法、結果、考察、謝辞および引用文献などの構成について学ぶ。	講義	園木	【事前学習】 投稿規定 【事後学修】 事後レポートの提出
4	論文の文体 学術論文における文体や構造について学ぶ。	講義	園木	【事前学習】 英文リテラシー 【事後学修】 事後レポートの提出
5	図表の作成 図や表の構成、文字と説明書き、縮尺、単位などについて学ぶ。	講義	園木	【事前学習】 図と表の使い方 【事後学修】 事後レポートの提出
6	参考文献の引用 本文で引用すべき参考文献の選択、および文献リストの作成などを学ぶ。	講義	園木	【事前学習】 投稿規定 【事後学修】 事後レポートの提出
7	論文に用いる略語、記号、用語 学術論文に用いられる略語、記号、および専門用語について学ぶ。	講義	辻澤	【事後学修】 事後レポートの提出
8	論文の校閲と校正 自他者の論文を校閲および校正するために必要な知識と手技を学ぶ	講義	辻澤	【事後学修】 事後レポートの提出

2023年度

内科学特論 (Advanced Internal Medicine)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目 I	単位数	1.0
授業方法	講義	時間数	16.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男						
	園木 一男						

授業の概要

内科系疾患を系統的に学びながら口腔疾患に影響する内科系疾患、あるいは逆に口腔疾患が内科系疾患にどのように影響するのか学ぶ。さらに内科系疾患と口腔疾患との関係を報告した最新の文献にもふれる。

学生の到達目標

1. 全身疾患の部分症状としての口腔症状には何があり、その疾患と口腔症状を説明できる。2. 口腔疾患の経過に影響を及ぼす全身疾患には何があり、その疾患と口腔症状を説明できる。3. 口腔疾患に起因する全身疾患には何があり、その疾患を説明できる。4. 目的にあった文献を検索し、理解、まとめ、資料を作成し、説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
講義資料は適宜配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔内科学シークレット	島原政司、勝 健一	MEDSi
口腔と全身の健康	第22回日本歯科医学会総会記念誌編集委員会	医歯薬出版
口腔の病気と全身の健康	田中健蔵その他	医歯薬出版
知って安心！全身疾患ガイド	デンタルハイジーン別冊	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
論文の理解度	30%
プレゼンテーション	30%
事後レポート	30%
全体諮問	10%

点数配分：レポート100点で8回の平均点で評価する。レポートの評価はルーブリック評価表に基づいて行う。

その他

学修相談 随時メールにて受付

2023年度

内科学特論 (Advanced Internal Medicine)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	1.0
授業方法	講義	時間数	16.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	全身疾患の部分症状としての口腔症状その1 感染症、血液疾患による口腔症状を学ぶ。	講義	園木	【事前学修】感染症、血液疾患 【事後学修】事後レポートの提出
2	全身疾患の部分症状としての口腔症状 その2 膠原病、内分泌疾患による口腔症状を学ぶ。	講義	園木	【事前学修】膠原病、内分泌疾患 【事後学修】事後レポートの提出
3	全身疾患の部分症状としての口腔症状 その3 抄読会 感染症、血液疾患、膠原病、内分泌疾患のいずれかによる口腔症状に関する文献を見つけ、説明する。	演習	園木	【事前学修】感染症、血液疾患、膠原病、内分泌疾患による口腔症状 【事後学修】事後レポートの提出
4	口腔疾患の経過に影響を及ぼす全身疾患 その1 糖尿病、薬物がどのように口腔疾患の経過に影響を及ぼすかを学ぶ。	講義	園木	【事前学修】糖尿病、薬物 【事後学修】事後レポートの提出
5	口腔疾患の経過に影響を及ぼす全身疾患 その2 抄読会 糖尿病、薬物のいずれかが口腔疾患の経過に影響した文献を見つけ、説明する。	演習	園木	【事前学修】糖尿病、薬物による口腔疾患 【事後学修】事後レポートの提出
6	口腔疾患に起因する全身疾患 その1 口腔疾患に起因する全身疾患として金属アレルギー、菌血症・敗血症を学ぶ。	講義	園木	【事前学修】金属アレルギー、菌血症・敗血症 【事後学修】事後レポートの提出
7	口腔疾患に起因する全身疾患 その2 口腔疾患に起因する全身疾患として動脈硬化性疾患、誤嚥性肺炎を学ぶ。	講義	園木	【事前学修】動脈硬化性疾患、誤嚥性肺炎 【事後学修】事後レポートの提出
8	口腔疾患に起因する全身疾患 その3 抄読会 口腔疾患に起因する全身疾患として金属アレルギー、菌血症・敗血症、動脈硬化性疾患、誤嚥性肺炎の中から文献を見つけ、説明する。 全体の諮問	演習	園木	【事前学修】口腔疾患による金属アレルギー、菌血症・敗血症、動脈硬化性疾患、誤嚥性肺炎 【事後学修】事後レポートの提出

2023年度

口腔保健福祉学特論Ⅰ (Advanced Oral Health and Welfare PromotionⅠ)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義・演習	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

地域におけるヘルスプロモーション（HP）や福祉の推進（WP）にかかる活動や、歯科における医療・保健・福祉連携の実際に係る理論と方法の詳細について講義を行う。

学生の到達目標

1. 地域の保健・福祉の実際を説明できる。
2. 歯科における医療・保健・福祉の連携の実際を説明できる。
3. 歯科における医療・保健・福祉の連携を推進するための方法論を習得する。
4. 地域で口腔HP、WPを実践するための知識を習得する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
地方分権時代の健康政策実践書ーみんなで楽しくできるヘルスプロモーション	石井 敏弘、中村 譲治、その他	ライフサイエンスセンター

参考書

タイトル	著者	出版社
国民衛生の動向	厚生労働統計協会	
不平等が健康を損なう	イチロー カワチ, ブルース・P. ケネディ	日本評論社
ソーシャル・キャピタルと健康	イチロー カワチ	日本評論社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
プレゼンテーション	20%

レポートおよび第5回、第7回の企画内容のプレゼンテーションにより評価する。点数配分：レポート8回×10点、プレゼンテーション2回×10点

その他

学生相談：随時

2023年度

口腔保健福祉学特論Ⅰ (Advanced Oral Health and Welfare PromotionⅠ)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義・演習	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	ヘルスプロモーションの理論 PRECEDE-PROCEED modelなどHPで用いられる一般的な手法および近年用いられている新しい手法について学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：PRECEDE-PROCEED model 事後：事後レポートの提出
2	口腔を通じた福祉のあり方について 介護制度を含む高齢者福祉や障害者福祉における歯科の役割とあるべき姿について学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：高齢者福祉、障害者福祉 事後：事後レポートの提出
3	オーラルヘルスプロモーションの実際理論 口腔保健におけるHPの理論について学ぶ。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：オーラルヘルスプロモーション 事後：事後レポートの提出
4	オーラルヘルスプロモーションの実際(1)～事例の収集～ 口腔保健におけるHPの実際について、市町村事業の実例を示しながら方法論を学ぶ。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：事例の収集 事後レポートの提出
5	オーラルヘルスプロモーションの実際(2)～事例の収集～ 前回到引き続き、 口腔保健におけるHPの実際について、市町村事業の実例を示しながら方法論を学ぶ。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：事例の収集 事後レポートの提出
6	地域における口腔HP、WP事例の収集と課題の抽出(1)～事例の収集～ 地域歯科保健等に関する報告書などから地域における口腔HP、WPの実例を選出する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：事例の収集 事後レポートの提出
7	地域における口腔HP、WP事例の収集と課題の抽出(2)～事例から学ぶ課題と 解決方法～ 前回選出した事例について地域の課題とその解決方法について考察する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：事例の収集 事後レポートの提出
8	地域における口腔HP、WP事例の収集と課題の抽出(3)～事例から学ぶ課題と 解決方法～ 文献検索を行い、国内外の事例を検討する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：事例の収集 事後レポートの提出
9	地域における口腔HP、WP事例の収集と課題の抽出(4)～事例から学ぶ課題と 解決方法～ 前回到引き続き文献検索を行い、国内外の事例の実際を検討する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：事例の収集 事後レポートの提出
10	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法(1)～課題の抽出～ 福岡県内市町村の中からモデル地区を選出してその課題を抽出する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：事例の収集 事後レポートの提出
11	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法(2)～課題の解決方法の企画 立案～ 前回抽出したモデル地区の課題の解決方略を企画立案する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：事例の収集 事後レポートの提出
12	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法(3)～課題の解決方法の企画 立案～ 前回抽出したモデル地区の課題の解決方略を企画立案する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：事例の収集 事後レポートの提出
13	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法(4)～課題の解決方法の企画 立案～ 前回抽出したモデル地区の課題の解決方略を企画立案する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：事例の収集 事後レポートの提出

2023年度

口腔保健福祉学特論Ⅰ (Advanced Oral Health and Welfare PromotionⅠ)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義・演習	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
14	地域のHP、WPに対する働きかけ 地域住民に働きかけを行うために必要な方法論について事例を交えながら学習する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：地域のHP、WP 事後：事後レポートの提出
15	まとめ これまで行ってきた内容をまとめ、プレゼンテーションを行う。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：プレゼンテーションの準備 事後：プレゼンテーションの提出

2023年度

細胞分子生物学特論 (Advanced Cellular Molecular Biology)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						
	秋房 住郎						

授業の概要

【引地】(5回、概論5回) 口腔に関連した骨代謝学の基礎と応用について、最近の知見・臨床病態を加え、講義する。【秋房】(5回、概論5回) 免疫機能について概説し、研究の方向性について講義する。

学生の到達目標

1. 細胞分子生物学(細胞の構造および各種細胞内小器官、ゲノム、タンパク質合成機序、細胞内情報伝達系)の概要を説明できる。
2. 細胞生物学的実験の基礎となる知識を習得する。
3. 硬組織研究に必要な基礎と応用にかかる知識を習得する。
4. 免疫研究に必要な基礎と応用にかかる知識を習得する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
細胞の分子生物学; 第7版	Bruce Alberts, Julian Lewis, Martin Raff他	ニュートンプレス

参考書

タイトル	著者	出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	90%
口頭試問	10%

事後レポート15回×6点と口頭試問10点により評価する。

その他

学生相談：随時

2023年度

細胞分子生物学特論 (Advanced Cellular Molecular Biology)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	細胞分子生物学概論(細胞とゲノム) 原核細胞と真核細胞における細胞や染色体の構造について学び、細胞内小器官の機能についても学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：原核細胞、真核細胞、染色体、細胞内小器官 事後：事前配布資料の予習
2	細胞分子生物学概論(細胞骨格とタンパク質) 細胞骨格の組成と構造および細胞内でのタンパク質合成機序について学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：細胞骨格、タンパク質合成 事後：前回学習の事後レポート提出
3	細胞分子生物学概論(細胞と情報伝達) 細胞内外の刺激にかかる細胞内の情報伝達のあり方について学び、各種カスケードの詳細についても学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：細胞内情報伝達、カスケード 事後：学習の事後レポート提出
4	細胞分子生物学概論(細胞周期とアポトーシス) 細胞周期及びアポトーシスに関する分子制御の概要を理解して、腫瘍分子の相互作用について理解を深める。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：細胞周期、アポトーシス、腫瘍分子 事後：前回学習の事後レポート提出
5	細胞分子生物学概論(細胞と免疫) 免疫機序における非自己認識の意義について学び、疾患との関連についても学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：免疫、自己認識 事後：前回学習の事後レポート提出
6	硬組織の形態と機能 歯・骨などの硬組織の解剖学的形態およびその機能について講義する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：硬組織、解剖学 事後：前回学習の事後レポート提出
7	硬組織の細胞と分化 歯・骨などの硬組織を構成する細胞の機能およびその分化過程について学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：硬組織、細胞機能、分化過程 事後：事後レポート提出
8	硬組織とその代謝 歯・骨などの硬組織のリモデリングに関わる代謝過程について学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：硬組織、リモデリング 事後：前回学習の事後レポート提出
9	硬組織代謝と疾患 歯・骨などの硬組織の疾患における代謝異常について学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：硬組織、疾患、代謝異常 事後：前回学習の事後レポート提出
10	硬組織研究法 歯・骨などの硬組織の研究手法を主に分子生物学的手法を中心に学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：硬組織、分子生物学 事後：前回学習の事後レポート提出
11	免疫組織・細胞の機能 炎症応答におけるリンパ系組織および細胞の役割について学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：炎症応答、リンパ球、リンパ節 事後：前回学習の事後レポート提出

2023年度

細胞分子生物学特論 (Advanced Cellular Molecular Biology)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
12	自然免疫の概要 好中球やマクロファージ、樹状細胞の非自己認識機能について最新の研究成果を交えながら学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：【事前学習課題】パターン認識受容体、マクロファージ、樹状細胞 事後：前回学習の事後レポート提出
13	獲得免疫の概要 B細胞、T細胞等が非自己を認識して誘導する液性・細胞性免疫の概要について学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：細胞障害性T細胞、ヘルパーT細胞、B細胞 事後：前回学習の事後レポート提出
14	免疫と疾患 免疫機能の異常により起こる疾患の発症メカニズムについて学ぶ。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：アレルギー反応、自己免疫疾患、移植片対宿主病 事後：前回学習の事後レポート提出
15	免疫研究の実際 免疫系の実験研究の実際について概説し、当該領域の研究を遂行するために必要な実験的知識を学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房	事前：論文の抄読 事後：前回学習の事後レポート提出・15回の事後レポートは終了後時期を定めて提出

2023年度

分子栄養学特論 (Advanced Molecular Nutrition)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目 I	単位数	2.0
授業方法	講義・演習	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 中道 敦子						
	辻澤 利行 中道 敦子						

授業の概要

管理栄養士など他職種と連携しながら幅広い視野を持った歯科保健活動を行うために必要な栄養学の知識を学ぶ。

学生の到達目標

1. う蝕の栄養学について理解する。
2. 歯周病の栄養学について理解する。
3. 低栄養について理解する。
4. 栄養調査・栄養アセスメントについて理解する。
5. 飢餓と侵襲時の代謝について理解する。
6. 生活習慣病の栄養学について理解する。
7. 食事摂取基準による栄養管理の考え方を理解する。
8. 静脈経腸栄養ガイドラインによる栄養管理の考え方を理解する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
食事摂取基準2020年版、第一出版		

参考書

タイトル	著者	出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

事後レポートはルーブリックを用いて評価する。

その他

学生相談：随時

2023年度

分子栄養学特論 (Advanced Molecular Nutrition)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目 I	単位数	2.0
授業方法	講義・演習	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 中道 敦子						
	辻澤 利行 中道 敦子						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	健康な人の栄養管理について学ぶ1 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤	食事摂取基準 2020年版（総論 、各論：エネルギー1）
2	健康な人の栄養管理について学ぶ2 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤	食事摂取基準 2020年版（各論 ：エネルギー 2、たんぱく質 ）事後レポート の提出
3	健康な人の栄養管理について学ぶ3 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤	食事摂取基準 2020年版（各論 ：各論：脂質、 炭水化物） 事後レポートの 提出
4	健康な人の栄養管理について学ぶ4 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤	食事摂取基準 2020年版（各論 ：ビタミン、ミ ネラル）
5	健康な人の栄養管理について学ぶ5 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤	食事摂取基準 2020年版（各論 ：対象特性） 事後レポートの 提出
6	健康な人の栄養管理について学ぶ6 食事摂取基準について学ぶ	講義・演習	辻澤	食事摂取基準 2020年版（各論 ：生活習慣病と エネルギー・栄 養素との関連） 事後レポートの 提出
7	傷病者等の栄養管理について学ぶ1 飢餓と侵襲の代謝について学ぶ。	講義・演習	辻澤	飢餓、侵襲
8	傷病者等の栄養管理について学ぶ2 静脈経腸栄養ガイドラインの考え方を学ぶ。	講義・演習	辻澤	静脈経腸栄養ガ イドライン 事後レポートの 提出
9	特別な食事療法が必要な人への栄養管理について糖尿病、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病の患者の栄養管理考え方について学ぶ。	講義・演習	辻澤	糖尿病、高血圧 、脂質異常症、 慢性腎臓病 事後レポートの 提出
10	う蝕の細菌学・栄養学1 歯科の二大疾患であるう蝕の細菌学について栄養学的な視点から学習する。	講義・演習	辻澤	う蝕、う蝕原性 細菌、う蝕の予 防法
11	う蝕の細菌学・栄養学2 歯科の二大疾患であるう蝕の細菌学について栄養学的な視点から学習する。	講義・演習	辻澤	う蝕、う蝕原性 細菌、う蝕の予 防法 事後レポートの 提出
12	歯周病の細菌学・栄養学1 歯科の二大疾患である歯周病の細菌学について栄養学的な視点から学習する。	講義・演習	辻澤	歯周病、歯周病 原性細菌、歯の 喪失と栄養

2023年度

分子栄養学特論 (Advanced Molecular Nutrition)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義・演習	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 中道 敦子						
	辻澤 利行 中道 敦子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
13	歯周病の細菌学・栄養学2 歯科の二大疾患である歯周病の細菌学について栄養学的な視点から学習する。	講義・演習	辻澤	歯周病、歯周病原性細菌、歯の喪失と栄養 事後レポートの提出
14	歯科臨床栄養学 歯科臨床栄養学について考える。	講義・演習	辻澤	オーラルフレイル・歯の喪失と食生活 事後レポートの提出
15	地域貢献活動 他職種が行う地域貢献活動を学ぶ	講義・演習	辻澤、中道	減塩の日、栄養の日、食育白書 事後レポートの提出

2023年度

医療政策学特論 (Advanced Medical Policy)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	邵 仁浩, 中道 敦子						
	中道 敦子, 邵 仁浩						

授業の概要

医療政策学特論では、我が国の医療供給体制、医療計画、各種保健事業、医療保険制度、診療報酬制度等について学習するとともに、それぞれの関係法令等の歴史的経緯及び施策の要点について学習する。また、健康社会学の歴史と概念、具体的なアプローチ方法と研究方法、対象と領域、ヘルスプロモーション等について学習する。

学生の到達目標

1. 保健医療政策および社会保険政策の概要を説明できる。2. 医療法と関連する政策を理解できる。3. 医療従事者に関連する政策を理解できる。4. 保健衛生関係法規と関連する政策を理解できる。5. 健康保険法と関連する政策を理解できる。6. 健康社会学の概念を説明できる。7. 健康社会学のアプローチを詳細に説明できる。8. 健康社会学の研究方法を詳細に説明できる。9. 健康・医療の社会学の系譜を詳細に説明できる。10. 健康社会学の対象と領域を詳細に説明できる。11. ヘルスプロモーションを詳細に説明できる。12. 社会健康学における歯科医療者の役割を理解できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を提示する		

参考書

タイトル	著者	出版社
国民衛生の動向	厚生労働統計協会編	厚生労働統計協会
保険と年金の動向	厚生労働統計協会編	厚生労働統計協会
公衆衛生がみえる	医療情報科学研究所編	メディクメディア
健康と病気の社会学第9版,2013	コンラッドほか	ワーク出版
保健社会学Ⅰー生活・労働・環境問題,1993	園田恭一ほか	有信堂
医療六法	中央法規出版 編	中央法規出版
医療の価値と価格	田倉智之	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
プレゼンテーション	20%

その他

学生相談：担当教員が随時対応します。

2023年度

医療政策学特論 (Advanced Medical Policy)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	邵 仁浩, 中道 敦子						
	中道 敦子、邵 仁浩						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	保健医療政策の概要保健医療行政の仕組み、政策決定の方法、行政機関および医療関係団体の役割等について学習する。【事前学習課題】保健医療行政、医療関係団体	講義	邵	講義内容の復習
2	医療法と関連する政策Ⅰ病診連携の推進、地域医療支援病院、特定機能病院の認可要件と役割について学習する。【事前学習課題】医療機関の種類と連携	講義	邵	講義内容の復習
3	医療法と関連する政策Ⅱ病院・診療所における医薬品・医療機器の安全管理対策、院内感染防止対策について学習する。【事前学習課題】歯科医療機関の医療安全対策	講義	邵	講義内容の復習
4	医療従事者に関連する政策歯科医療従事者の資質向上施策、チーム医療の推進における看護業務の見直し等の動向について学習する。【事前学習課題】チーム医療と多職種連携	講義	邵	事後レポートの提出
5	健康増進法等と関連する政策国民健康づくり運動の経緯、健康日本21（第2次）および歯科口腔保健法に基づく施策の動向について学習する。【事前学習課題】健康日本21（第2次）、歯科保健目標	講義	邵	講義内容の復習
6	地域保健法等と関連する政策衛生行政の沿革、保健所・市町村保健センターにおける業務の現況、健康危機管理への対応について学習する。【事前学習課題】保健所・市町村保健センターの業務	講義	邵	講義内容の復習
7	社会保険政策の概要高齢化の進展に伴う医療保険制度、年金保険制度および介護保険制度のあり方に関する政策の動向を学習する。【事前学習課題】医療保険制度、介護保険制度	講義	邵	講義内容の復習
8	健康保険法と関連する政策保険診療および保険外併用療法（選定療養、評価療養）の仕組み、診療報酬の改定、高額療養費制度等について学習する。【事前学習課題】保険診療の仕組み、診療報酬制度	講義	邵	事後レポートの提出
9	健康社会学の理論健康社会学の歴史、健康社会学のコンセプト、原則、モデルを学習する。【事前学習課題】健康社会学のコンセプト	講義	中道	事後レポートの提出
10	健康社会学のアプローチ健康社会学の具体的なアプローチ方法を概説する。ヘルスプロモーションと健康教育における理論を学習する。【事前学習課題】ヘルスプロモーションと健康教育	講義	中道	事後レポートの提出
11	健康社会学の研究手法健康社会学の研究領域を学んで、その研究モデルを理解する。【事前学習課題】健康社会学の研究領域	講義	中道	事後レポートの提出
12	健康・医療の社会学の系譜疾病構造、社会的課題、医療の発展などを学習する。【事前学習課題】疾病構造の変化と医療の発展	講義	中道	事後レポートの提出
13	健康社会学の対象と領域地域住民、学校、労働者など対象別の課題とその解決方法を学習する。【事前学習課題】地域住民の健康社会学上の課題	講義	中道	事後レポートの提出
14	ヘルスプロモーション地域歯科医療分野におけるヘルスプロモーションの事例を挙げて、その課題を抽出し、その考察をする。【事前学習課題】地域歯科医療におけるヘルスプロモーション	講義	邵	事後レポートの提出
15	まとめ健康社会学における歯科医療者の役割を学習する。【事前学習課題】健康社会学における歯科医療者の役割	講義	邵	事後レポートの提出

2023年度

高齢者口腔機能支援学特論 (Advanced Functional Support for Elderly persons)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

授業の概要

口腔機能を通じて高齢者の生活を守り、健康寿命の延長のために必要な歯科衛生士の役割について講義する。摂食嚥下機能評価および口腔内状況の評価に基づき、理論的に口腔健康管理を実践するための方法を修得する。

学生の到達目標

- ・加齢や疾患、障害など様々な要因によって生じる口腔の機能の複合的低下している疾患(口腔機能低下症)について説明できる。
- ・口腔機能が低下した高齢者に対する医療や介護において、歯科衛生士の関わりを説明できる。
- ・口腔機能が低下した高齢者等に対して歯科衛生士が行う口腔健康管理について説明できる。
- ・口腔機能が低下した高齢者等に対して行う口腔健康管理に必要な介護技術や食事支援について説明できる。
- ・口腔機能の評価法について説明できる。・口腔機能が低下した高齢者等に関する研究論文を精読できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
関連論文および資料を配布する。		
在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術	秋房住郎・泉繭依	永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション	社団法人日本歯科衛生士会 監修	医歯薬出版
摂食・嚥下リハビリテーション 第3版	才藤栄一・向井美恵	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

レポートによって評価する(大学院ルーブリック評価基準に基づく)。

その他

学生相談：随時e-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

2023年度

高齢者口腔機能支援学特論 (Advanced Functional Support for Elderly persons)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	超高齢社会の現状社会の中における高齢者の位置づけや高齢者福祉について学修する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出
2	医療保険制度において歯科衛生士が関わる内容について学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出
3	介護保険制度において歯科衛生士が関わる内容について学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出
4	口腔機能が低下した高齢者に対する口腔健康管理1 脳血管疾患の後遺症によって口腔機能の低下が生じた場合の口腔の特徴と口腔健康管理について学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出
5	口腔機能が低下した高齢者に対する口腔健康管理2 認知症によって口腔機能の低下もしくは理解の低下が生じた場合の口腔の特徴と口腔健康管理について学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出
6	口腔機能が低下した高齢者に対する口腔健康管理3 廃用症候群が進行し、寝たきりとなった場合の口腔の特徴と口腔健康管理について学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出
7	体位の確保と体位の移動様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、体位の確保と体位の移動について学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出
8	口腔機能の診断と評価1 嚥下内視鏡検査と嚥下造影検査について検査方法を学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出
9	口腔機能の診断と評価2 口腔清掃状態の評価、舌苔の評価、口腔乾燥の評価について検査方法を学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出
10	口腔機能の診断と評価3 咬合圧の評価、舌・更新運動機能の評価、低舌圧の評価、咀嚼機能の評価について検査方法を学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出
11	口腔機能の診断と評価4 歯科衛生士や多職種が実施できる様々な嚥下機能評価について検査方法を学修する。関連する文献を精読する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出
12	歯科衛生士として口腔機能低下症の方の口腔健康管理を行う上で、患者への動機づけをどのように行うか関連する論文を精読して検討する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出
13	歯科衛生士として口腔機能低下症の方の口腔健康管理を行う上で、生活指導や栄養指導についてどのように行うか関連する論文を精読して考察する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出
14	歯科衛生士として口腔機能低下症の方の口腔健康管理を行う上で、維持回復を目指した訓練をどのように行うことが望ましいか関連する論文を精読して考察する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出
15	歯科衛生士として口腔機能低下症の方の口腔健康管理を行う上で、病院、施設、在宅におけるそれぞれの患者に対して多職種が連携する方法について関連論文を精読して考察する。	講義 (Teams, Moodle)	泉	レポートの提出

2023年度

専門的口腔ケア特論 (Advanced Professional Oral Health Care)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数		曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	中道 敦子, 船原 まどか						
	中道 敦子, 船原 まどか						

授業の概要

急性期患者に対応する病院や地域保健において、口腔保健関連業務を中核的に担うための知識を修得することを目的とする。

学生の到達目標

1. 急性期における口腔機能管理の概要を説明できる
2. 急性期における口腔機能管理の目的を説明できる
3. 急性期における患者の口腔有害事象を説明できる
4. 挿管患者に対する口腔衛生管理について説明できる
5. 緩和ケアを受ける患者への口腔管理について説明できる

テキスト

タイトル	著者	出版社

参考書

タイトル	著者	出版社
エビデンスに基づいた周術期口腔機能管理	梅田正博、五月女 さき子	医歯薬出版
がん患者の口腔ケア	日本口腔ケア学会 学術委員会	医学書院
改定版：周術期口腔機能管理の基本がわかる本	梅田正博	クインテッセンス出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポートまたは発表	100%

- ・受講者のレディネスに合わせたレポート課題、またパワーポイントによる発表課題を提示する。
- ・評価はルーブリックを用いて行う。評価項目については事前に学生に提示する。

その他

学生相談：月～金の16:30～17:30 61オフィスまたはメールにて連絡をください。
事前・事後学習課題および方法については学習状況により指示を行います。

2023年度

専門的口腔ケア特論 (Advanced Professional Oral Health Care)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数		曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	中道 敦子, 船原 まどか						
	中道 敦子, 船原 まどか						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	急性期口腔機能管理総論 ・ 周術期等口腔機能管理の対象患者について説明できる	講義	船原	[キーワード] 周術期とは
2	がん患者の口腔症状と問題点 ・ がん患者の口腔症状について説明できる ・ がん治療の種類と口腔内有害事象について説明できる	講義	船原	[キーワード] がん治療 (化学療法、放射線療法、手術)
3	口腔がん手術と口腔管理 口腔がん以外の手術と口腔管理 ・ 手術前後の口腔管理、また術後の口腔有害事象について説明できる	講義	船原	[キーワード] 手術後創部感
4	挿管患者への口腔管理 ・ 全身麻酔下手術予定患者に対する術前歯科治療および歯科衛生指導、口腔衛生管理について説明できる ・ 人工呼吸器装着患者に対し、人工呼吸器関連肺炎予防を目的とした口腔清掃方法について説明できる	講義	船原	[キーワード] VAP
5	口腔がん放射線治療と口腔管理 ・ 口腔がん放射線治療時の口腔有害事象を列挙できる ・ 口腔がん放射線治療後の有害事象と、予防方法について患者に説明できる	講義	船原	[キーワード] 口腔がん、口腔粘膜炎
6	口腔がん化学療法と口腔管理 口腔がん以外の化学療法と口腔管理 ・ 化学療法時に起こりうる口腔内有害事象を時系列で説明できる ・ 化学療法時の全身的副作用を時系列で説明できる ・ 化学療法時の全身的副作用を考慮した口腔衛生管理について説明できる	講義	船原	[キーワード] 化学療法、抗がん剤、ナディア期
7	臓器移植予定患者への口腔管理 ・ 臓器移植手術を受けるまでの流れについて説明できる ・ 臓器移植手術を受ける患者の口腔内に現れる有害事象について説明できる ・ 臓器移植手術を受ける患者の術後の注意点について、歯科衛生士として説明ができる	講義	船原	[キーワード] 臓器移植
8	心臓血管外科手術と口腔管理 ・ 心臓血管外科手術前の歯科治療の必要性および歯科診療時の留意点を説明できる ・ 心臓血管外科手術後の口腔衛生管理の必要性および方法について説明できる	講義	船原	[キーワード] 心臓血管外科手術、IE
9	在宅療養がん患者と口腔管理 ・ 在宅療養を行うがん患者の口腔症状と問題点について説明できる ・ 地域包括ケアにおける多職種との連携を理解する	講義	船原	[キーワード] 地域包括ケアシステム、在宅医療
10	緩和ケアにおける口腔管理 ・ 告知の必要性について説明できる ・ 死の受容プロセスについて説明できる ・ 人生の最終段階にある人の疼痛のアセスメント及びコントロールの方法を理解し、口腔に関わる疼痛緩和のためのケアを説明できる ・ 死後の家族のケア (グリーフケア) について説明できる。	講義	船原	[キーワード] 告知、緩和ケア、グリーフケア、死生観
11	多職種連携 ・ 急性期に関わる多職種について述べるができる ・ 多職種と連携する中で、歯科衛生士の役割について説明できる	講義	船原	[キーワード] 呼吸サポートチーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム
12	歯科衛生過程を用いた急性期における口腔管理計画立案 (1) ・ 歯科衛生過程を用い、急性期における口腔管理計画を立案できる	講義、演習	船原、中道	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する
13	歯科衛生過程を用いた急性期における口腔管理計画立案 (2) ・ 歯科衛生過程を用い、急性期における口腔管理計画を立案できる	講義、演習	船原、中道	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する

2023年度

専門的口腔ケア特論 (Advanced Professional Oral Health Care)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数		曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	中道 敦子, 船原 まどか						
	中道 敦子, 船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
14	歯科衛生過程を用いた急性期における口腔管理計画立案(3) ・歯科衛生過程を用い、急性期における口腔管理計画を立案できる	講義、演習	船原、中道	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する
15	総合討論 提示された症例に対し、多職種役割と連携を理解したディスカッションができる。	講義	船原	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する

2023年度

摂食嚥下リハビリテーション学特論 (Dysphagia Rehabilitation (Advanced))

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						
	藤井 航						

授業の概要

超高齢社会における高齢者のQOLの維持向上のために、歯科衛生士が摂食嚥下障害を理解し、その摂食嚥下リハビリテーションを実践、指導するために必要な知識や技術を習得する。

学生の到達目標

摂食嚥下障害を総括的に学修する。

テキスト

タイトル	著者	出版社

参考書

タイトル	著者	出版社
摂食嚥下リハビリテーション第3版	才藤栄一ら編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試問・単位認定試験	80%
レポート	10%
プレゼンテーション	10%

レポート、プレゼンテーションについては、事前に提示したルーブリックにて評価する。

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはemailで質問などは受け付ける。

2023年度

摂食嚥下リハビリテーション学特論 (Dysphagia Rehabilitation (Advanced))

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						
	藤井 航						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	リハビリテーションとは？	講義（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題 ：リハビリテーション 事後レポートの提出
2	摂食嚥下とは？	講義（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題 ：摂食嚥下 事後レポートの提出
3	摂食嚥下障害とは？	講義（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題 ：摂食嚥下障害 事後レポートの提出
4	小児の摂食嚥下障害	講義（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題 ：小児の摂食嚥下障害 事後レポートの提出
5	高齢者の摂食嚥下障害	講義（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題 ：高齢者の摂食嚥下障害 事後レポートの提出
6	摂食嚥下障害の問診とスクリーニング	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題 ：摂食嚥下障害の問診とスクリーニング 事後レポートの提出
7	摂食嚥下障害に対する嚥下造影（VF）	講義（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題 ：嚥下造影 事後レポートの提出
8	摂食嚥下障害に対する内視鏡下嚥下機能検査（VE）	講義（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題 ：内視鏡下嚥下機能検査 事後レポートの提出
9	摂食嚥下障害と口腔衛生管理	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題 ：口腔衛生管理 事後レポートの提出
10	摂食嚥下障害に対する間接訓練	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題 ：間接訓練 事後レポートの提出
11	摂食嚥下障害に対する直接訓練	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題 ：直接訓練 事後レポートの提出
12	摂食嚥下障害に応じた栄養管理と食物形態	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題 ：栄養管理と食物形態 事後レポートの提出

2023年度

摂食嚥下リハビリテーション学特論 (Dysphagia Rehabilitation (Advanced))

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						
	藤井 航						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
13	摂食嚥下障害における多職種連携	講義（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題：多職種連携 事後レポートの提出
14	症例検討	講義・実習（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題：症例のまとめ 事後レポートの提出
15	総括，試問，単位認定試験	講義・試験（遠隔により実施を含む）	藤井	事前学修課題：試問への準備 事後レポートの提出 最終レポートの提出

2023年度

歯科疫学・統計学特論 (Advanced Oral Epidemiology and Statistics)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

授業の概要

口腔健康学関連の研究に必要な疫学理論、生物統計学、因果推論について基本的知識を修得し、臨床疫学、環境疫学など様々なテーマを付け加えた疫学の応用研究に対応できる能力を養う。

学生の到達目標

①疫学における統計学の役割を説明できる。②保健医療事象の実態を明らかにするための記述疫学的手法を説明できる。③保健医療事象にかかわる要因を明らかにする分析疫学的手法を説明できる。④疫学における交絡および因果関係を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社

参考書

タイトル	著者	出版社
医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学的アプローチ 第4版	スティーブン B. ハリー ほか	メディカルサイエンスインターナショナル
ロスマンの疫学	ケネス J. ロスマン	篠原出版新社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
発言内容	20%

事後レポート (80%)、ディスカッション時の発言内容 (授業内容の把握) (20%)で評価する。

その他

学生相談：随時

2023年度

歯科疫学・統計学特論 (Advanced Oral Epidemiology and Statistics)

開講年次	1年	期区分	通年	必修/選択	専門選択科目Ⅰ	単位数	2.0
授業方法	講義	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1,2	疫学理論-疾病頻度疾病頻度について、疾病量の指標を踏まえながら学習する。	講義	邵	疾病量の指標 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出
3~5	疫学理論-疫学研究の種類記述疫学、分析疫学、介入疫学の目的と流れを習得する。	講義	邵	研究デザイン 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出
6,7	疫学理論-バイアスと交絡バイアスと交絡について、研究デザインを踏まえながら制御方法を学習する。	講義	邵	バイアス 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出
8,9	因果推論因果推論にいて、研究デザインを踏まえながら学習する。	講義	邵	因果推論 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出
10	疫学理論-研究仮説の設定研究仮説の設定について、文献検索を踏まえながら学習する。	講義	邵	研究仮説の設定方法 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出
11	口腔保健医療行政の保健医療事業評価口腔保健医療事業評価について、具体的な事例を踏まえながら評価の考え方を学習する。	講義	邵	口腔保健医療事業評価の方法 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出
12,13	生物統計学-偶然誤差と統計の役割口腔保健医療データ解析における統計の役割を学習する。	講義	邵	偶然誤差、系統誤差、統計学的仮説検定と推定 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出
14	生物統計学-単純な口腔保健医療データの解析単純な口腔保健医療データを解析するのに必要な統計手法を学習する。	講義	邵	効果指標の信頼区間 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出
15	生物統計学-回帰モデルの利用重回帰分析および多重ロジスティック回帰分析について学習する。	講義	邵	重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析 事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出

2023年度

細胞分子生物学演習 (Seminar of Cellular Molecular Biology)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	講義・演習	時間数	60.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	秋房 住郎, 辻澤 利行						
	秋房 住郎, 辻澤 利行						

授業の概要

細胞生物学と分子生物学の基礎と応用について概説し、実験手法を学習する。

学生の到達目標

1. 細胞培養の原理と手技を説明できる。2. 細胞分化の検出方法を説明できる。3. 細胞の活性化の検出方法を説明できる。4. アポトーシスによる細胞死の検出方法を説明できる。5. タンパク質の分離と分析方法を説明できる。6. 核酸の分析方法を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社

参考書

タイトル	著者	出版社
バイオ実験イラストレイテッド(細胞工学別冊 目で見える実験ノートシリーズ)〈1〉分子生物学実験の基礎		(秀潤社)
バイオ実験イラストレイテッド(細胞工学別冊 目で見える実験ノートシリーズ)〈2〉遺伝子解析の基礎		(秀潤社)
バイオ実験イラストレイテッド(細胞工学別冊 目で見える実験ノートシリーズ)〈3+〉本当にふえるPCR		(秀潤社)
バイオ実験イラストレイテッド(細胞工学別冊 目で見える実験ノートシリーズ)〈5〉タンパクなんてこわくない		(秀潤社)
バイオ実験イラストレイテッド(細胞工学別冊 目で見える実験ノートシリーズ)〈6〉すくすく育て細胞培養		(秀潤社)
マウス・ラット実験ノートーはじめての取り扱い、飼育法から投与、解剖、分子生物学的手法まで(無敵のバイオテクニカルシリーズ)		(羊土社)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

事後レポートはルーブリックを用いて評価する。

その他

学生相談：随時

2023年度

細胞分子生物学演習 (Seminar of Cellular Molecular Biology)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	講義・演習	時間数	60.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	秋房 住郎, 辻澤 利行						
	秋房 住郎、辻澤 利行						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	細胞培養の基礎 (その1) ①細胞の取り扱い方 ②培地の作り方	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 細胞培養、培地、無菌的操作
2	細胞培養の基礎 (その2) ③細胞の継代	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 細胞継代、接着細胞、浮遊細胞
3	細胞培養の基礎 (その3) ④細胞の保存	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 細胞保存、分注、液体窒素 事後レポートの提出①
4	動物の取り扱い方 (その1) ①マウス、ラットの取り扱い方	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 マウス、ラット
5	動物の取り扱い方 (その2) ②動物への薬物の投与方法	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 経口投与、経静脈投与、腹腔投与
6	動物の取り扱い方 (その3) ③動物からの採血法	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 採血 事後レポートの提出②
7	マウスからの臓器・細胞の調製 (その1) ①マウスの麻酔法	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 吸入麻酔、注射麻酔
8	マウスからの臓器・細胞の調製 (その2) ②脾臓細胞、骨髄細胞、腹腔マクロファージの調製法	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 脾臓、骨髄、腹腔、マクロファージ
9	マウスからの臓器・細胞の調製 (その3) ③初代骨芽細胞の調製法	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 骨芽細胞、primary cell 事後レポートの提出③
10	細胞の分化 (その1) ①骨髄系幹細胞の分化の理論と実際	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 骨髄系幹細胞、分化
11	細胞の分化 (その2) ②骨芽細胞の分化の理論と実際	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 骨芽細胞、分化
12	細胞の分化 (その3) ③樹立系細胞の分化の理論と実際	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 樹立系細胞、分化 事後レポートの提出④

2023年度

細胞分子生物学演習 (Seminar of Cellular Molecular Biology)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	講義・演習	時間数	60.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	秋房 住郎, 辻澤 利行						
	秋房 住郎、辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
13	細胞の活性化 (その1) ①リンパ球活性化の検出	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 リンパ球
14	細胞の活性化 (その2) ②骨芽細胞を介した破骨細胞の活性化	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 破骨細胞
15	細胞の活性化 (その3) ③アディポカインなどの生理活性物質の免疫学的検討	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 アディポカイン、免疫 事後レポートの提出⑤
16	アポトーシス (その1) ①アポトーシスの機序と検出法の理論	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 アポトーシス
17	アポトーシス (その2) ②破骨細胞、マクロファージのアポトーシス	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 破骨細胞、マクロファージ、アポトーシス
18	アポトーシス (その3) ③アポトーシス細胞の検出方法の実際	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 アポトーシス 事後レポートの提出⑥
19	PCRによるDNAの分析 (その1) ①PCR法とRT-PCR法の原理	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 PCR法、RT-PCR法
20	PCRによるDNAの分析 (その2) ②細胞(臓器)からのDNAの調製と定量	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 DNA、調製、定量
21	PCRによるDNAの分析 (その3) ③PCR反応の実施 ④アガロースゲル電気泳動と生成物の検出	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 DNA、アガロースゲル電気泳動 事後レポートの提出⑦
22	タンパク質の分離と定量法 (その1) ①細胞(臓器)からのタンパク質の調製	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 タンパク質調製
23	タンパク質の分離と定量法 (その2) ②タンパク質の定量	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 タンパク質、定量
24	タンパク質の分離と定量法 (その3) ③タンパク質の分離の原理	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 タンパク質、分離 事後レポートの提出⑧
25	SDS-PAGEによるタンパク質の分離 (その1) ①電気泳動の種類と原理	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 SDS-PAGE、タンパク質
26	SDS-PAGEによるタンパク質の分離 (その2) ②アクリルアミドゲルの作成と試料の調製方法	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 アクリルアミドゲル

2023年度

細胞分子生物学演習 (Seminar of Cellular Molecular Biology)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	講義・演習	時間数	60.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	秋房 住郎, 辻澤 利行						
	秋房 住郎、辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
27	SDS-PAGEによるタンパク質の分離 (その3) ③SDS-PAGEの実施とゲル染色	講義・演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 ゲル染色 事後レポートの提出⑨
28	Western Blotting によるタンパク質の分析 (その1) ①Western Blotting法とELISA法の原理	演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 Western Blotting法、
29	Western Blotting によるタンパク質の分析 (その2) ②PVDR膜への転写とBlocking	演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 PVDR膜、転写、Blocking
30	Western Blotting によるタンパク質の分析 (その3) ③1次抗体との反応 ④2次抗体との反応	演習	秋房、辻澤	【事前学習課題】 抗体、1次、2次 事後レポートの提出⑩

2023年度

分子栄養学演習 (Seminar of Molecular Nutrition)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	講義・演習	時間数	60.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業の概要

管理栄養士など多職種と連携しながら幅広い視野を持った歯科保健活動を行うために必要な栄養学関連の文献等を精読する。

学生の到達目標

1. 論理的に説明できる。
2. 実験手技および調査方法についてその原理を理解・説明できる。
3. 結果の解釈を理解・説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

参考書

タイトル	著者	出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
質疑応答	50%

事後レポートはルーブリックを用いて評価する。

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1～30	栄養学に関する文献を抄読し、研究の背景と文献の内容、および関連分野の研究の今後の展望を学習する。また、プレゼンテーション能力や質問に回答していきながら科学的な質疑応答能力を養っていく。	文献抄読、討論	辻澤	文献検索・抄読

2023年度

高齢者口腔機能支援学演習 (Seminar of Functional Support for Elderly persons)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	演習	時間数	60.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

授業の概要

加齢だけでなく、疾患や障害など様々な要因によって生じる口腔機能の低下(口腔機能低下症)を学修したうえで、口腔機能を適切に診断し維持回復するために必要な評価法を演習する。さらに口腔機能が低下した高齢者に対して歯科衛生士が行う口腔健康管理および実施の際に必要な介護技術や介護食支援について演習する。これまで明らかになっている先行論文等を精読したうえで、患者や施設高齢者に対して口腔機能評価を実践する。

学生の到達目標

- ・摂食嚥下障害や口腔機能低下症を診断する検査ができる。
- ・口腔健康管理を行う際に必要な介護技術ができる。
- ・口腔健康管理を行う際に必要な食事支援ができる。
- ・様々な疾患を持つ患者や施設入所者を想定して口腔健康管理ができる。
- ・研究調査において口腔機能評価ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
関連論文および資料を配布する。		
在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術	秋房住郎・泉繭依	永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
摂食・嚥下リハビリテーション 第3版	才藤栄一・向井美恵	医歯薬出版
歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション	社団法人日本歯科衛生士会 監修	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

レポートによって評価する(大学院ルーブリック評価基準に基づく)。

その他

学生相談：随時e-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

2023年度

高齢者口腔機能支援学演習 (Seminar of Functional Support for Elderly persons)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	演習	時間数	60.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	口腔機能の診断と評価1-1 歯科衛生士や多職種が実施できる様々な嚥下機能評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉	レポートの提出
2	口腔機能の診断と評価1-2 歯科衛生士や多職種が実施できる様々な嚥下機能評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉	レポートの提出
3	口腔機能の診断と評価2-1 口腔清掃状態の評価、舌苔の評価、口腔乾燥の評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉	レポートの提出
4	口腔機能の診断と評価2-2 口腔清掃状態の評価、舌苔の評価、口腔乾燥の評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉	レポートの提出
5	口腔機能の診断と評価3-1 咬合圧の評価、舌・口唇運動機能の評価、低舌圧の評価、咀嚼機能の評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉	レポートの提出
6	口腔機能の診断と評価3-2 咬合圧の評価、舌・口唇運動機能の評価、低舌圧の評価、咀嚼機能の評価について検査方法を実習する。さらに、関連する文献を精読する。	演習	泉	レポートの提出
7	症例1-1：脳血管疾患の後遺症 歯科衛生過程を用いて、脳血管疾患の後遺症によって口腔機能の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。	演習	泉	レポートの提出
8	症例1-2：脳血管疾患の後遺症 歯科衛生過程を用いて、脳血管疾患の後遺症によって口腔機能の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉	レポートの提出
9	症例1-3：脳血管疾患の後遺症 歯科衛生過程を用いて、脳血管疾患の後遺症によって口腔機能の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉	レポートの提出
10	症例2-1：認知症 歯科衛生過程を用いて、認知症によって口腔機能の低下もしくは理解の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。	演習	泉	レポートの提出
11	症例2-2：認知症 歯科衛生過程を用いて、認知症によって口腔機能の低下もしくは理解の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉	レポートの提出
12	症例2-3：認知症 歯科衛生過程を用いて、認知症によって口腔機能の低下もしくは理解の低下が生じた場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉	レポートの提出
13	症例3-1：廃用症候群 歯科衛生過程を用いて、廃用症候群が進行し、寝たきりとなった場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。	演習	泉	レポートの提出
14	症例3-2：廃用症候群 歯科衛生過程を用いて、廃用症候群が進行し、寝たきりとなった場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉	レポートの提出
15	症例3-3：廃用症候群 歯科衛生過程を用いて、廃用症候群が進行し、寝たきりとなった場合の口腔の特徴を分析し口腔健康管理計画を立案する。シミュレータを用いて実習する。	演習	泉	レポートの提出
16	体位の確保と体位の移動1 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、体位の確保と体位の移動について実践する。	演習	泉	レポートの提出

2023年度

高齢者口腔機能支援学演習 (Seminar of Functional Support for Elderly persons)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	演習	時間数	60.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
17	体位の確保と体位の移動2 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、体位の確保と体位の移動について実践する。	演習	泉	レポートの提出
18	体位の確保と体位の移動3 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、体位の確保と体位の移動について実践する。	演習	泉	レポートの提出
19	間接訓練1 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、間接訓練について実習する。	演習	泉	レポートの提出
20	間接訓練2 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、間接訓練について実習する。	演習	泉	レポートの提出
21	間接訓練3 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、間接訓練について実習する。	演習	泉	レポートの提出
22	食事支援1 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、食事支援について実習する。	演習	泉	レポートの提出
23	食事支援2 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、食事支援について実習する。	演習	泉	レポートの提出
24	食事支援3 様々な疾患に適した口腔健康管理を実施するにあたり、食事支援について実習する。	演習	泉	レポートの提出
25	口腔機能が低下した高齢者に関する歯科衛生研究1 研究の背景と文献の内容、および関連分野の研究について学修する。	演習	泉	レポートの提出
26	口腔機能が低下した高齢者に対する歯科衛生研究2 研究の背景と文献の内容、および関連分野の研究について学修する。	演習	泉	レポートの提出
27	口腔機能評価1 これまで学習した知識や技術をもとに、患者や施設入所者に対して口腔機能評価を実施する。	演習	泉	レポートの提出
28	口腔機能評価2 これまで学習した知識や技術をもとに、患者や施設入所者に対して口腔機能評価を実施する。	演習	泉	レポートの提出
29	口腔機能評価3 これまで学習した知識や技術をもとに、患者や施設入所者に対して口腔機能評価を実施する。	演習	泉	レポートの提出
30	口腔機能評価4 これまで学習した知識や技術をもとに、患者や施設入所者に対して口腔機能評価を実施する。	演習	泉	レポートの提出

2023年度

専門的口腔ケア演習 (Seminar of Professional Oral Health Care)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	演習	時間数		曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	中道 敦子, 船原 まどか						

授業の概要

急性期口腔機能管理に必要な知識と技術を習得する。
本講義は本大学大学院歯学研究科口腔保健学専攻ディプロマポリシーにおける、
・科学的根拠に基づいた口腔保健活動を実践することができる
・全ての世代に対して全身の健康という視点に立った口腔保健活動ができる
・多職種と主体的に連携して、口腔保健活動を通じて社会貢献ができる
能力の育成に資する。

学生の到達目標

- 急性期における歯科衛生士の役割を説明できる
- 口腔がん治療を受ける患者に対し口腔管理を実施できる
- 口腔がん以外のがん治療を受ける患者に対し口腔管理を実施できる
- がん以外の手術を受ける患者に対し口腔管理を実施できる
- 挿管患者に対する口腔衛生管理を実施できる
- 緩和ケアを受ける患者に対し、他職種と連携し口腔管理を実施できる
- 急性期における歯科衛生過程を作製できる

テキスト

タイトル	著者	出版社

参考書

タイトル	著者	出版社
がん患者の口腔ケア	日本口腔ケア学会 学術委員会	医学書院
エビデンスに基づいた周術期口腔機能管理	梅田正博、五月女 さき子	医歯薬出版
改定版：周術期口腔機能管理の基本がわかる本	梅田正博	クインテッセンス 出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポートまたはプレゼンテーション	70%
講義前試問	30%

演習後レポートを評価する。
事前学習課題として挙げられている項目について講義および演習前に口頭試問を行う。

その他

学生相談：月～金の16:30～17:30 61オフィスまたはメールにて連絡をください。
事前・事後学習課題および方法については学習状況により指示を行います。

2023年度

専門的口腔ケア演習 (Seminar of Professional Oral Health Care)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	演習	時間数		曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	中道 敦子, 船原 まどか						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	急性期における歯科衛生士の役割 (1) ・急性期における歯科の関わりと歯科衛生士の役割を説明できる	講義 演習	船原 中道	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する
2	急性期における歯科衛生士の役割 (2) ・急性期における歯科の関わりと歯科衛生士の役割を説明できる	講義 演習	船原	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する
3	がん患者の口腔症状と問題点 ・がん患者の口腔症状について説明できる ・がん治療の種類と口腔内有害事象について説明できる	講義 演習	船原	[キーワード] がん治療 (化学療法、放射線療法、手術)
4	口腔管理の基本技術 ・急性期における口腔管理に用いる物品の使用法・基本技術を実施できる	講義 演習	船原	[キーワード] 含嗽剤、スポンジブラシ、歯ブラシ、口腔保湿剤、口腔内吸引機
5	口腔がん手術患者症例 (1) ・症例検討および口腔衛生管理計画を作製・立案できる	演習	船原	[キーワード] 口腔がん、手術部位感染
6	口腔がん手術患者症例 (2) ・症例検討および口腔衛生管理計画を作製・立案できる	演習	船原	[キーワード] 口腔がん、手術部位感染
7	口腔がん以外の手術患者症例 ・症例検討および口腔衛生管理計画を作製・立案できる	演習	船原	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する
8	挿管患者への口腔管理計画立案 (1) ・挿管患者における手術前後の問題点、口腔有害事象をふまえ、症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原	[キーワード] 経口挿管、人工呼吸器関連肺炎
9	挿管患者への口腔管理計画立案 (2) ・挿管患者における手術前後の問題点、口腔有害事象をふまえ、症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原	[キーワード] 経口挿管、人工呼吸器関連肺炎
10	口腔がん放射線治療症例 (1) ・口腔がん放射線治療患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原	[キーワード] 放射線治療、口腔粘膜炎
11	口腔がん放射線治療症例 (2) ・口腔がん放射線治療患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原	[キーワード] 放射線性顎骨壊死
12	口腔がん化学療法症例 (1) ・口腔がん化学療法患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原	[キーワード] 化学療法、抗がん剤、ナディア期
13	口腔がん化学療法症例 (2) ・口腔がん化学療法患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原	[キーワード] 口腔粘膜炎、分子標的薬
14	薬剤関連顎骨壊死症例検討 (1) ・歯科衛生士として行う薬剤関連顎骨壊死発症予防対策や、発症後の悪化予防に関わる口腔衛生管理計画を立案できる	講義 演習	船原	[キーワード] 薬剤関連顎骨壊死、骨粗鬆症、ビスホスホネート製剤

2023年度

専門的口腔ケア演習 (Seminar of Professional Oral Health Care)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	演習	時間数		曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	中道 敦子, 船原 まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
15	薬剤関連顎骨壊死症例検討(2) ・歯科衛生士として行う薬剤関連顎骨壊死発症予防対策や、発症後の悪化予防に関わる口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する
16	心臓血管外科手術症例 ・心臓血管外科手術予定患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原	[キーワード] 狭心症、心筋梗塞、心臓血管外科手術、IE、歯周病
17	在宅療養がん患者症例 ・在宅にて療養するがん患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原	[キーワード] 地域包括ケアシステム、在宅医療
18	緩和医療・緩和ケアについて ・緩和医療および緩和ケアの基本知識について説明できる	講義 演習	船原	[キーワード] 学生のレディネスに合わせ指示する
19	緩和ケア症例 ・緩和ケアを受ける患者に対し、全身の症状、口腔有害事象をふまえた症例検討および口腔衛生管理計画を立案できる	演習	船原	[キーワード] 告知、緩和ケア、グリーフケア、死生観、口腔乾燥
20	急性期における多職種連携 ・急性期における多職種連携に必要な口腔に関する情報を伝達することを目的とした連絡シートの作製ができる	演習	船原	[キーワード] 栄養サポートチーム、呼吸サポートチーム、緩和ケアチーム

2023年度

地域歯科衛生活動演習 (Seminar of Community Dental Hygiene Practice)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	講義・演習	時間数	60.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	邵 仁浩, 辻澤 利行, 中道 敦子, 泉 繭依, 船原 まどか, 本田 尚郁						
	船原まどか、本田尚郁						

授業の概要

地域歯科保健活動の実際を通して、地域住民の健康づくりを支援するための歯科衛生士の役割および具備すべき能力を修得する。

学生の到達目標

1. 地域保健のシステムと歯科衛生士の役割が説明できる。
2. 地域歯科衛生活動の内容が説明できる。
3. 対象集団への歯科衛生活動計画を立案できる。
4. 地域歯科衛生活動を実践できる。
5. 歯科衛生活動を評価できる。
6. 地域住民の健康づくりに関わる人々と連携できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
保健生態学第2版	全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版
咀嚼の本2	日本咀嚼学会	口腔保健協会

参考書

タイトル	著者	出版社
よくわかる摂食・嚥下のメカニズム第2版	山田好秋	医歯薬出版
咀嚼機能アップBOOK	小野高裕、増田裕次	クインテッセンス出版
その他最新の情報を各自で入手しておくこと		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
プレゼンテーション	20%

その他

学修相談は随時受けます 中道敦子：月～金 16：30～17：30/内線 8022/またはメール 初年次の初めに開講期間を通しての学修計画を共有します。活動フィールドがある場合は各自で作成した実施計画を持参してください。

2023年度

地域歯科衛生活動演習 (Seminar of Community Dental Hygiene Practice)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	講義・演習	時間数	60.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	邵 仁浩, 辻澤 利行, 中道 敦子, 泉 繭依, 船原 まどか, 本田 尚郁						
	船原まどか、本田尚郁						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	地域歯科衛生活動の基礎1	講義遠隔授業	中道	【事前学習課題】地域歯科保健
2	地域歯科衛生活動の基礎2	講義遠隔授業	中道	【事前学習課題】地域歯科保健
3	地域住民に対する歯科衛生活動① 情報収集	演習	中道	事後レポート
4	地域住民に対する歯科衛生活動① 計画立案	演習	中道	事後レポート
5	地域住民に対する歯科衛生活動① 実践	演習	中道	事後レポート
6	地域住民に対する歯科衛生活動① 実践	演習	中道	事後レポート
7	地域住民に対する歯科衛生活動① 実践	演習	中道	事後レポート
8	地域住民に対する歯科衛生活動① 実践	演習	中道	事後レポート
9	地域住民に対する歯科衛生活動① 評価	演習	中道	事後レポート
10	地域住民に対する歯科衛生活動① 報告とフィードバック	講義・演習遠隔授業	中道	【事前学習課題】地域歯科保健と歯科衛生活動
11	高齢者に対する歯科衛生活動 情報収集	演習	中道	事後レポート
12	高齢者に対する歯科衛生活動計画立案	演習	中道	事後レポート
13	高齢者に対する歯科衛生活動実践	演習	中道	事後レポート
14	高齢者に対する歯科衛生活動 実践	演習	中道	事後レポート
15	高齢者に対する歯科衛生活動 実践	演習	中道	事後レポート
16	高齢者に対する歯科衛生活動実践	演習	中道	事後レポート
17	高齢者に対する歯科衛生活動評価	演習	中道	事後レポート
18	高齢者に対する歯科衛生活動 報告とフィードバック	講義・演習遠隔授業	中道	【事前学習課題】口腔機能低下と栄養
19	地域住民に対する歯科衛生活動② 情報収集	演習	中道	事後レポート
20	地域住民に対する歯科衛生活動② 計画立案	演習	中道	事後レポート
21	地域住民に対する歯科衛生活動② 実践	演習	中道	事後レポート
22	地域住民に対する歯科衛生活動② 実践	演習	中道	事後レポート
23	地域住民に対する歯科衛生活動② 実践	演習	中道	事後レポート
24	地域住民に対する歯科衛生活動② 実践	演習	中道	事後レポート
25	地域住民に対する歯科衛生活動② 評価	演習	中道	事後レポート

2023年度

地域歯科衛生活動演習 (Seminar of Community Dental Hygiene Practice)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	講義・演習	時間数	60.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	邵 仁浩, 辻澤 利行, 中道 敦子, 泉 繭依, 船原 まどか, 本田 尚郁						
	船原まどか、本田尚耶						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
26	地域住民に対する歯科衛生活動② 報告とフィードバック	講義・演習遠隔授業	中道	【事前学習課題】 ライフステージと歯科衛生活動
27	地域歯科衛生活動の展望 実践を踏まえたディスカッション	演習遠隔授業	中道	【事前学習課題】 地域歯科保健と歯科衛生活動の現状について の見解
28	地域歯科衛生活動の展望 実践を踏まえたディスカッション	演習遠隔授業	中道	【事前学習課題】 地域歯科保健と歯科衛生活動の展望
29	口腔保健に関する最新の研究論文検索	演習	中道	【事前学習課題】 論文検索のタイトルリスト 【事後学習課題】 抄読レポート
30	口腔保健に関する最新の研究論文検索	演習	中道	【事前学習課題】 論文検索のタイトルリスト 【事後学習課題】 抄読レポート

2023年度

摂食嚥下リハビリテーション学セミナー (Seminar of Dysphagia Rehabilitation)

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	演習	時間数	30.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						
	藤井 航						

授業の概要

摂食嚥下リハビリテーション関連の最新の研究の動向を知るために文献を検索し、精読する。また、各自の研究内容のプレゼンテーション・ディスカッションを行い、今後の研究について展望する。

学生の到達目標

摂食嚥下障害を理解し、摂食嚥下リハビリテーションを実践、指導するために必要な知識や技術を学修する。

テキスト

タイトル	著者	出版社

参考書

タイトル	著者	出版社
紹介する論文、関連文献および参考書は各自必要なものを選別する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	80%
レポート	20%

プレゼンテーションについては、事前に提示したルーブリックにより評価する。

その他

【オフィスアワー】演習の前後、またはemailで質問などは受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1～60	論文抄読 研究の背景や、関連する文献の精読とプレゼンテーションを行う。研究報告 自身の研究内容（経過、学会発表準備）に関するプレゼンテーションを行う。	論文紹介および討論研究内容の報告と討論（遠隔により実施を含む）	藤井	文献の精読 研究結果の整理 プレゼンテーションの準備

2023年度

歯科疫学・統計学演習 (Seminar of Oral Epidemiology and Statistics)

開講年次	1年～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	講義・演習	時間数	60.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

授業の概要

講義では、口腔健康学関連の研究に必要な疫学理論、生物学的統計、因果推論について基本的知識と技能を修得し、臨床疫学、環境疫学など様々なテーマを付加えた疫学の応用研究に対応できる能力を養う。演習では、事例に基づいたデータを用い、統計ソフトの取り扱いとともに疾病量の指標、記述疫学的方法論、分析疫学的方法論、因果関係の判定法等について修得する。

学生の到達目標

①疫学における統計学の役割を説明できる。②保健医療事象の実態を明らかにするための記述疫学的手法を身につけ対応できる。③保健医療事象にかかわる要因を明らかにする分析疫学的手法を身につけ対応できる。④疫学における交絡および因果関係を説明できる。⑤統計ソフトEZRを使用し、データの解析を実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社

参考書

タイトル	著者	出版社
医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学的方法 第4版	スティーブン B. ハリー ほか	メディカルサイエンスインターナショナル
ロスマンの疫学	ケネス J. ロスマン	篠原出版新社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート（報告書）	50%
プレゼンテーション	50%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはe-mailで質問などは受け付ける。

2023年度

歯科疫学・統計学演習 (Seminar of Oral Epidemiology and Statistics)

開講年次	1年～2年	期区分	1年後期～2年前期	必修/選択	専門選択科目Ⅱ	単位数	4.0
授業方法	講義・演習	時間数	60.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1	疫学理論-疾病頻度疾病量の指標について事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵	疾病量の指標 事前学習レポート(プレゼンテーション資料)の提出
2,3	口腔保健医療データ解析-要約統計量具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら要約統計量について学習する。	講義・演習	邵	講義の復習
4	疫学理論-疫学研究の種類記述疫学、分析疫学、介入疫学の目的と流れについて事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵	研究デザイン 事前学習レポート(プレゼンテーション資料)の提出
5,6	口腔保健医療データ解析-単変量解析具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら単変量解析について学習する。	講義・演習	邵	講義の復習
7	疫学理論-バイアスと交絡研究デザインを踏まえながらバイアスの制御方法について事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵	バイアス 事前学習レポート(プレゼンテーション資料)の提出
8,9	口腔保健医療データ解析-多重線形回帰分析具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら単変量線形回帰および多重線形回帰分析について学習する。	講義・演習	邵	講義の復習
10	因果推論研究デザインを踏まえながら因果推論について事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵	因果推論 事前学習レポート(プレゼンテーション資料)の提出
11,12	口腔保健医療データ解析-交絡制御具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら交絡因子の統計学的調整と交互作用について学習する。	講義・演習	邵	講義の復習
13	疫学理論-研究仮説の設定文献検索を踏まえながら研究仮説の設定について事前学習し、プレゼンテーションする。	講義・演習	邵	研究仮説の設定方法 事前学習レポート(プレゼンテーション資料)の提出
14,15	口腔保健医療データ解析-相対危険具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながらオッズ比と相対危険について学習する。	講義・演習	邵	講義の復習
16,17	口腔保健医療データ解析-多重ロジスティック回帰分析具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら多重ロジスティック回帰分析について学習する。	講義・演習	邵	講義の復習
18,19	口腔保健医療データ解析-多重Cox 比例ハザードモデル具体的データを用いて、EZRの操作を踏まえながら多重Cox 比例ハザードモデルについて学習する。	講義・演習	邵	講義の復習
20,21	口腔保健医療データ解析-より複雑なモデルマルチレベル分析、傾向化スコアについて学習する。【事前学習課題】マルチレベル分析、傾向化スコア	講義	邵	講義の復習
22~29	口腔保健医療行政の保健医療事業報告書の作成具体的な口腔保健医療事業を評価し、報告書を作成する。	演習	邵	レポート(報告書)の提出
30	まとめ作成した口腔保健医療事業報告書の内容をプレゼンテーションする。	講義・演習	邵	事前学習レポート(プレゼンテーション資料)の提出

2023年度

口腔科学研究（担当教員： 邵 仁浩）（Specialized Study for Oral Health (Soh I.)）

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年通年	必修/選択	専門研究	単位数	12.0
授業方法	講義・演習	時間数	180.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩						

授業の概要

口腔科学研究では、歯科保健に関わる研究に必要な疫学理論、生物学的統計、因果推論について基本的知識と技能を修得するとともに、事例に基づいたデータを用い、統計ソフトの取り扱いとともに疾病量の指標、記述疫学的方法論、分析疫学的方法論、因果関係の判定法等について修得する。

学生の到達目標

1.疫学における統計学の役割を説明できる。2.保健医療事象の実態を明らかにするための記述疫学的手法を説明できる。3.保健医療事象にかかわる要因を明らかにする分析疫学的手法を説明できる。4.疫学における交絡および因果関係を説明できる。5.学習結果をプレゼンテーションできる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものと各自検索したものを利用する。		

参考書

タイトル	著者	出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
報告書	50%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはe-mailで質問などは受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1～90	・研究内容に即した文献を収集・抄読する。 ・疫学理論1-疾病頻度、疫学研究の種類・疫学理論2-バイアスと交絡、因果推論 ・疫学理論3-研究仮説の設定・歯科保健データの解析方法・論文を作成する。	・講義・文献抄読・検討・作成した論文の検討	邵 仁浩	・論文検索、抄読・事前配布された資料により学習する。

2023年度

口腔科学研究（担当教員：秋房 住郎）（Specialized Study for Oral Health (Akifusa S.)）

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年通年	必修/選択	専門研究	単位数	12.0
授業方法	講義・演習	時間数	180.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						
	秋房 住郎						

授業の概要

高齢者の全身と口腔の健康の関連について、疫学的研究手法および統計学的手法を用いた研究の実践に関する指導を行う。また、研究成果をもとに論文を作成する。研究の進捗に応じて学会発表を行う。

学生の到達目標

1. 高齢者の全身と口腔の健康状態との関連について、統計学的手法を用いて解明する。
2. 研究結果をまとめ、論文にまとめ学術雑誌に投稿する。
3. 必要に応じて学会等で研究成果を発表する。

テキスト

タイトル	著者	出版社

参考書

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
報告書	50%

プレゼンテーションおよび報告書により評価する。プレゼンテーション50点×1回、報告書50点×1回

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1～90	研究内容に即した文献を収集・抄読する。 高齢者の全身と口腔の健康の関連について、疫学的研究を行う。また、研究成果をもとに論文を作成する。	・疫学研究 ・論文抄読 ・作成した論文の検討	秋房	論文検索、抄読・実験手法の予/復習

2023年度

口腔科学研究（担当教員：園木 一男）（Specialized Study for Oral Health（Sonoki K.））

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年通年	必修/選択	専門研究	単位数	12.0
授業方法	講義・演習	時間数	180.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男						

授業の概要

歯周病や残存歯数、咀嚼能などの口腔内の状況と動脈硬化や糖尿病などの全身の状況との関係を解明するため、地域住民や患者の歯科・内科検診データベースを使った臨床研究または培養細胞を使った基礎研究を行う。

学生の到達目標

- 疫学研究の手法（統計解析を含む）を理解できる。
- 臨床研究や基礎研究の課題を自ら設定し、研究方法をデザインし、実行、まとめることができる。
- 研究を進めていく上で重要な論文を見つけ、理解できる。
- 研究の成果を考察し、学会等で発表することができる。
- 研究成果を論文にまとめ、学術雑誌に投稿できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から提供したものおよび各自検索したものを利用する。		

参考書

タイトル	著者	出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
研究成果報告書	50%

その他

【オフィスアワー】随時メールにて受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1～90	<ul style="list-style-type: none"> 口腔状態と全身状態との関係解明のため、臨床研究か基礎研究のうちどちらかを選ぶ。 研究内容に即した文献を収集・抄読する。 研究計画を立案し、実行する。 進捗状況を報告する。 論文を作成し、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義、論文抄読、実験・解析 論文作成の指導 	園木	【事前学修課題】論文検索と論文精読、研究結果のまとめ 【事後学修課題】研究へのフィードバック

2023年度

口腔科学研究（担当教員：辻澤 利行）（Specialized Study for Oral Health（Tsujisawa T.））

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年通年	必修/選択	専門研究	単位数	12.0
授業方法	講義・演習	時間数	180.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業の概要

健康増進のための口腔保健と栄養に関する研究を行う。

学生の到達目標

1. 論理的に説明する
2. 調査方法と実験手順の結果の原則と解釈を理解し、要約する
3. 研究を進める上で重要な論文を見つけて理解する。
4. 研究結果の発表を準備し、実行する

テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から提供したものおよび各自検索したものを利用する。		

参考書

タイトル	著者	出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
報告書	50%

プレゼンテーションおよび報告書により評価する。

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1～90	・研究論文を検索して読む。・研究プログラムの計画と実施。・結果を科学的に分析する・レポート、プレゼンテーション資料、論文の作成・討議	・論文を読む・研究計画、実験、実践・成果発表資料・論文の作成・討議	辻澤	・文献検索・抄読・研究報告・プレゼンテーション資料

2023年度

口腔科学研究（担当教員：中道 敦子）（Specialized Study for Oral Health (Nakamichi A.)）

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年通年	必修/選択	専門研究	単位数	12.0
授業方法	講義・演習	時間数	180.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	古株 彰一郎, 辻澤 利行, 中道 敦子						

授業の概要

口腔保健の観点から全身の健康維持・向上に寄与する研究を行う。

学生の到達目標

1. 研究を進めていくうえで重要な論文を見つけ理解できる。研究の口腔保健における着眼点と全身の健康への寄与について述べることができる。
2. 先行研究等を参考に適切な研究計画を立案できる。
3. 安全かつ的確に研究を遂行できる。
4. 関連学会や成果報告会で研究成果を発表できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から提供したものおよび各自検索したものを利用する。		

参考書

タイトル	著者	出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
研究成果報告書	50%

その他

学生相談：随時対応するので事前にメールか電話で確認して下さい。メール,電話：内線8022,直通285-3042

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1～90	・研究内容に即した文献を収集・抄読する・研究仮説を述べる・研究計画を立案する・倫理審査の承認を得る・適切に研究を遂行する・研究結果を科学的に分析する・研究成果報告書	・論文抄読、討論・研究討論・調査研究・分子生化学的実験研究	中道古株辻澤	・論文検索、抄読・研究計画書、倫理申請書作成・研究報告

2023年度

口腔科学研究（担当教員：藤井 航）（Specialized Study for Oral Health (Fujii W.)）

開講年次	1～2年	期区分	1年後期～2年通年	必修/選択	専門研究	単位数	12.0
授業方法	講義・演習	時間数	180.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						
	藤井 航						

授業の概要

摂食嚥下障害患者に対する口腔機能管理をはじめとする歯科的介入の効果に関して、基礎的研究や調査研究を行う。

学生の到達目標

1. 研究内容を論理的に説明できる。2. 調査方法および実験手技についてその原理と結果の解釈を理解でき、まとめることができる。3. 研究を進めていく上で重要な論文が検索でき、その内容が理解できる。4. 結果をまとめ、学会発表や論文を作成することができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

参考書

タイトル	著者	出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
研究成果報告書	50%

プレゼンテーション、研究成果報告書については、事前に提示したルーブリックにて評価する。

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1～90	・研究内容に即した文献を収集・抄読する。・研究計画を立案する。・結果を検討する。・論文を作成する。	・講義・論文抄読・実験・データ収集・解析・学会発表準備・作成した論文の検討	藤井	・論文検索・抄読・資料作成・発表

2023年度

口腔科学研究（担当教員：船原まどか）（Specialized Study for Oral Health）

開講年次	1年～2年	期区分	1年後期～2年通年	必修/選択	専門研究	単位数	12.0
授業方法	講義・演習	時間数		曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	船原 まどか						
担当教員	船原 まどか						
	船原 まどか						

授業の概要

臨床に従事する機会を持つ学生が、急性期患者や高齢者に対する口腔由来の有害事象の予防を目的とした口腔管理方法の検討を行うために、演習を通じ明確にした課題に対して研究計画を立案し、担当教員と協議しながら主体的に研究を行い、その結果を発表する。

学生の到達目標

急性期患者や高齢者に対する口腔管理方法について、科学的根拠に基づき自らの研究結果を示すことができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社

参考書

タイトル	著者	出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
報告書	50%
プレゼンテーション	50%

プレゼンテーションおよび報告書により評価する。
プレゼンテーション50点×1回、報告書50点×1回

【プレゼンテーション評価】
・指定時間内に発表を行えるか
・発表パワーポイントの見やすさ（フォント、文字列、イラスト等）
・質問に対する回答（内容、態度）
・プレゼンテーションの構成
を総合的に評価する。

【報告書評価】

①量

指定された量の9割以上：優、8-7割：良、6-4割：可とする。

②内容

・情報収集

・考察

・順序だてた記載

以上①②を併せ総合的に評価する。

その他

学生相談時間：月曜～金曜の9時～17時を基本とし、随時受け付ける

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1～90	<ul style="list-style-type: none"> 研究内容に即した文献を収集・抄読する。 研究計画の立案を行う 研究遂行に必要な手技を学ぶ データ収集、または実験を行う 収集した結果の分析・考察を行う 報告書やプレゼンテーション、論文を作成する。 発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 論文抄読 計画立案 データ収集・実験 作成した報告書および論文の検討 	船原 まどか	<ul style="list-style-type: none"> 論文検索方法の事前学習 指定論文の事前抄読 実験手法の予習/復習

2023年度

口腔科学研究（担当教員：泉 繭依）（Specialized Study for Oral Health）

開講年次	1年～2年	期区分	1年後期～2年通年	必修/選択	専門研究	単位数	12.0
授業方法	講義・演習	時間数	180.00	曜日		時限	
開講学科	大学院 歯学研究科 口腔保健学専攻						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依						

授業の概要

口腔健康管理が全身の健康に与える影響について疫学的研究手法および統計学的手法を用いた研究の実践に関する指導を行う。

学生の到達目標

1. 先行研究論文をまとめることができる。
2. 仮説を立てることができる。
3. 研究計画書を作成することができる。
4. 疫学的調査研究ができる。
5. 調査データを統計学的手法を用いて解明することができる。
6. 研究内容を報告書にまとめることができる。
7. 研究内容をプレゼンテーションできる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は教員から供与したものおよび各自検索したものを利用する。		

参考書

タイトル	著者	出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
報告書	50%

報告書等は大学院ルーブリック評価基準に基づいて評価する。

その他

学生相談：随時、メール

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題
1～90	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先行研究論文をまとめる。 ・ 仮説を立てる。 ・ 研究計画書を作成する。 ・ 倫理審査申請書類を作成し承認を得る。 ・ 疫学的調査研究を実施する。 ・ 調査データを統計学的手法を用いて解明する。 ・ 研究内容を報告書にまとめる。 ・ 研究内容プレゼンテーション資料を作成する。 ・ プレゼンテーションする。 ・ 必要に応じて学会等で研究成果を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論文抄読、討論・研究討論・調査研究 	泉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論文検索、抄読 ・ 研究計画書、倫理申請書作成 ・ 研究報告

2023

Life and Medical Ethics

Grades	1 grade	Semester (or Term)	Spring	Subject	Basic	Credits	1.0
Methods	lesson and seminar	Total time	16.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Akifusa S.						
Instructor(s)	Soh I., Akifusa S., Tsujisawa T., Nakamichi A.						
	Nakamichi A. Akifusa S. Soh I. Tsujisawa T.						

Course Description

The purpose of this course is to lecture on theory and practice of ethical issue about human and animal experiment, clinical research and etiological study. To lecture fundamental concepts of Healthcare and welfare, and professional ethics of dental hygienist.

Attainment Objectives

The ability to:(1) describe ethical issue on life science research;
 (2) describe ethical issue on clinical research;
 (3) cultivate sense of medical ethics;
 (4) describe ethical issue on dental hygienist;
 (5) understand practice standard stipulated in the law for clinical study

Textbooks

Title	Author	Publisher

Reference Books

Title	Author	Publisher
Reference Book is edited in Japanese.		

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
after-action report on No. 1 to 6 lecture	60%
practice assignments of No. 7 and 8	40%

Evaluation
 after-action report: 6 × 10 points
 practice assignments of No. 7 and 8: 2 × 20 points

Etc

Student consultation: at all times

2023

Life and Medical Ethics

Grades	1 grade	Semester (or Term)	Spring	Subject	Basic	Credits	1.0
Methods	lesson and seminar	Total time	16.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Akifusa S.						
Instructor(s)	Soh I., Akifusa S., Tsujisawa T., Nakamichi A.						
	Nakamichi A. Akifusa S. Soh I. Tsujisawa T.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	Basic knowledge and behavior on medical ethics To lecture basic knowledge on medical ethics requiring for medical profession.	Lecture (Teams, Moodle)	Soh	before: guideline for medical ethics after: after-action report
2	Laws and guidelines for etiological and clinical research To lecture medical law, pharmaceutical affairs law, and national guidelines for epidemiological and clinical research	Lecture (Teams, Moodle)	Soh	before: guideline of ethics of epidemics and clinical study after: after-action report
3	Animal welfare, animal rights, and ethical issue for genetic study 1 To lecture law and guidelines regarding animal welfare, and 3R based on animal welfare. In addition, to lecture infection control and recent tendency of animal experiment outside of Japan.	Lecture (Teams, Moodle)	Tsujisawa	before: guideline of ethics of animal experiment after: after-action report
4	Animal welfare, animal rights, and ethical issue for genetic study 2 To lecture laws and guidelines regarding genetics experiment.	Lecture (Teams, Moodle)	Tsujisawa	before: guideline of ethics of genetics experiment after: after-action report
5	Ethical issue for clinical and healthcare activity by dental hygienist To lecture ethics requiring for dental hygienists in dental practice and healthcare. In addition, to lecture ethical code, duty of confidentiality, and legal duty.	Lecture (Teams, Moodle)	Nakamichi	before: code of ethical practice of dental hygienist after: after-action report
6	Ethical theory on medicine, healthcare and welfare To lecture ideal state of dental hygienist as medical profession through comparison theory and socially-accepted ideas based on theories regarding medical and welfare ethics	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: quadrisection for medical ethics, care ethics after: after-action report
7	Practice of application for ethical review in Kyushu Dental University (1) To practice form of medical ethical review of Kyushu Dental University requiring human and animal research.	Practice (Teams, Moodle)	Nakamichi, Akifusa, Soh, Tsujisawa	before: form of medical ethical review of Kyushu Dental University after: practice assignment
8	Practice of application for ethical review in Kyushu Dental University (2) To present the created form of medical ethical review of Kyushu Dental University requiring human and animal research.	Practice (Teams, Moodle)	Nakamichi, Akifusa, Soh, Tsujisawa	before and after: practice assignment and presentation

2023

Advanced Oral Health Sciences

Grades	1 grade	Semester (or Term)	Spring	Subject	Basic	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Akifusa S.						
Instructor(s)	Akifusa S., Sonoki K., Nakamichi A.						
	Nakamichi A. Akifusa S. Sonoki K. Soh I.						

Course Description

The purpose of this course is to lecture on recent evidences of oral health sciences by omnibus form.

Attainment Objectives

The ability to:(1) describe theory and practice of strategy for prevention of infection in dental practice;
 (2) describe national guidelines for management or provision of medical records/information, and medical advertising;
 (3) describe theory and practice for oral health science;
 (4) describe relationship between oral diseases and systemic health with the object of immunology;
 (5) describe general health on the basis of knowledge of ICF (International Classification of Functioning, Disability and Health);
 (6) describe relationship between periodontal disease and systemic disorders, and describe periodontal therapy for persons with systemic illness;
 (7) describe recent knowledge on oral health in older adults;
 (8) describe recent knowledge on oral health in terminal phase.

Textbooks

Title	Author	Publisher

Reference Books

Title	Author	Publisher
Reference Books are edited in Japanese.		中央法規出
ザ・ペリオドントロジー (Japanese)	和泉雄一	永末書店
歯周病の臨床(Japanese)	長谷川紘司 他	医歯薬出版
高齢者への戦略的歯科治療 (Japanese)	北村知昭	医歯薬出版
口腔の緩和医療・緩和ケア (Japanese)	太田洋二郎 他編	永末書店

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
after-action report	90%
Oral examination	10%

Evaluation
 after-action report: 15 × 6 points
 examination: 10 points

Etc

Student consultation: at all times

2023

Advanced Oral Health Sciences

Grades	1 grade	Semester (or Term)	Spring	Subject	Basic	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Akifusa S.						
Instructor(s)	Akifusa S., Sonoki K., Nakamichi A.						
	Nakamichi A. Akifusa S. Sonoki K. Soh I.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	Management or provision of medical records/information 1 To lecture kinds of patients and medical institute information, information system for medical function, advertisement about medical practice, and guidelines on providing medical information.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: medical law after: after-action report
2	Management or provision of medical records/information 2 To lecture laws related medical records (medical records, attestation, prescription, practical records of dental hygienist, etc), recording, safety management for medical information system.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: medical law after: after-action report
3	Elderly person medicine 1 To lecture senescence and characteristics of diseases in older adults	Lecture (Teams, Moodle)	Sonoki	before: feature of diseases in older adults after: after-action report
4	Elderly person medicine 2 To lecture chemotherapy for older adults, and medical/social problems.	Lecture (Teams, Moodle)	Sonoki	before: medical and social problems in older adults after: after-action report
5	Principles of infection control in dental health-care settings 1 To lecture risk and infection control in general dental partition.	Lecture (Teams, Moodle)	Tsujisawa	before: infection control for dental practice after: after-action report
6	Principles of infection control in dental health-care settings 2 To lecture infection control for HIV, HBV, and HCV.	Lecture (Teams, Moodle)	Tsujisawa	before: infection control for dental practice after: after-action report
7	Describe recent evidences of oral health in the elderly To lecture recent knowledge on oral healthcare for older adults.	Lecture (Teams, Moodle)	Fujii	before: oral health in older adults after: after-action report
8	Describe recent evidences of oral health in the end of life stage To lecture recent knowledge on oral healthcare in terminal phase.	Lecture (Teams, Moodle)	Fujii	before: terminal oral care after: after-action report
9	Describe theory and practice for oral health science 1 To lecture oral health education, based on health belief model and transtheoretical model.	Lecture (Teams, Moodle)	Nakamichi	before: health belief model, transtheoretical model after: after-action report
10	Describe theory and practice for oral health science 2 To lecture application of a theory of oral healthcare.	Lecture (Teams, Moodle)	Nakamichi	before: health belief model, transtheoretical model after: after-action report
11	Relationship between dental disease and systemic health based on immune function To lecture relationship between oral diseases and systemic health through innate immune system.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: innate immune after: after-action report
12	Relationship between social capital and oral health To lecture impact of social capital on oral health in communities. In addition, to lecture health divide.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: social capital after: after-action report

2023

Advanced Oral Health Sciences

Grades	1 grade	Semester (or Term)	Spring	Subject	Basic	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Akifusa S.						
Instructor(s)	Akifusa S., Sonoki K., Nakamichi A.						
	Nakamichi A. Akifusa S. Sonoki K. Soh I.						

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
13	Concept of health and ICF To lecture concept of health in view of ICF (International Classification of Functioning, Disability and Health).	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: ICF after: after-action report
14	Relationship between periodontal disease and systemic disorders To lecture relationship between periodontal diseases and systemic diseases.	Lecture (Teams, Moodle)	Soh	before: relationship between periodontal diseases and systemic diseases after: after-action report
15	Relationship between periodontal disease and systemic disorders on periodontal treatment To lecture periodontal therapy for patients with periodontal diseases-related systemic disorders.	Lecture (Teams, Moodle)	Soh	before: relationship between periodontal diseases and systemic diseases after: after-action report

2023

How to Write Life and Medical Article

Grades	1 grade	Semester (or Term)	Spring	Subject	Basic	Credits	1.0
Methods	lesson	Total time	16.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Sonoki Kazuo						
Instructor(s)	Sonoki K., Tsujisawa T.						
	Sonoki Kazuo Tsujisawa Toshiyuki						

Course Description

Learn how to write the title, authorship, abstract, introduction, methods and material, results, discussion, acknowledgement, references, tables, and figures in academic articles.

Learn about the methods of searching the literature and proofreading a manuscript and ethics required for author.

Attainment Objectives

1. be able to make an ethical judgment as author
2. be able to describe types and structure of articles
3. be able to choose an appropriate literary style, make tables and figures and quote the articles correctly
4. be able to describe the abbreviated words, marks, and terms
5. be able to understand and revise the points indicated by the editor and reviewers

Textbooks

Title	Author	Publisher
distribute handouts every lecture		

Reference Books

Title	Author	Publisher

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
report	100%

Scoring: Average of eight reports. Passing level is 60 of 100 points. A report is assessed using rubrics.

Etc

Student counseling : 8 : 30~17 : 15. recommend using e-mail

2023

How to Write Life and Medical Article

Grades	1 grade	Semester (or Term)	Spring	Subject	Basic	Credits	1.0
Methods	lesson	Total time	16.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Sonoki Kazuo						
Instructor(s)	Sonoki K., Tsujisawa T.						
	Sonoki Kazuo Tsujisawa Toshiyuki						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
	Author's ethics Learn about the ethics that researchers should obey when they publish the articles.	lecture	Sonoki k	[prior study] Authorship [post study] report
	Article types Learn about original article, review article, case report, and abstract in oral and poster presentation.	lecture	Sonoki k	[prior study] academic article [post study] report
	Structure of articles Learn about title, authorship, abstract, introduction, methods and material, results, discussion, acknowledgement, and references.	lecture	Sonoki k	[prior study] Guideline for Authors [post study] report
	Type of articles Learn about types and structure of academic articles.	lecture	Sonoki k	[prior study] English article literacy [post study] report
	Making of tables and figures Learn about the structure of table and figure, character, description, scale, and units.	lecture	Sonoki k	[prior study] English article literacy [post study] report
	Quotation of references Learn about the choice of references in the body text and creation of a literature list.	lecture	Sonoki k	[prior study] Guideline for Authors [post study] report
	Usage of the abbreviated words, marks, and terms Learn about the abbreviated words, marks, and technical terms used in the academic articles.	lecture	Tsujisawa T	[post study] report
	Reviewing and proofreading of article Learn about the knowledge and procedure needed to review and proofread own and other people's articles.	lecture	Tsujisawa T	[post study] report

2023

Advanced Internal Medicine

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	1.0
Methods	lesson	Total time	16.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Sonoki Kazuo						
Instructor(s)	Sonoki K. Sonoki Kazuo						

Course Description

With studying the medical disease systematically, learn about the medical disease which affects the progress of oral disease and how oral disease affects the medical disease. In addition, discuss the latest articles which report the relationship between medical disease and oral disease.

Attainment Objectives

1. be able to describe the oral symptoms emerging as partial symptoms of systemic disease
2. be able to describe the systemic disease which affects the progress of oral disease
3. be able to describe the systemic disease arising from oral disease
4. be able to search a purposive literature, understand it, summarize it, and present it

Textbooks

Title	Author	Publisher
distribute handouts appropriately		

Reference Books

Title	Author	Publisher

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
understanding of literature	30%
presentation	30%
post report	30%
inquiry	10%

scoring of report: evaluation by rubric

Etc

Student consultation: receiving e-mail anytime

2023

Advanced Internal Medicine

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	1.0
Methods	lesson	Total time	16.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Sonoki Kazuo						
Instructor(s)	Sonoki K. Sonoki Kazuo						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	oral symptoms emerging as partial symptoms of systemic disease No.1 Learn about oral symptoms by infection disease and blood disease.	lecture	Sonoki k	【prior study】 infection disease, blood disease 【post study】 post report
2	oral symptoms emerging as partial symptoms of systemic disease No.2 Learn about oral symptoms by collagen disease and endocrine disease.	lecture	Sonoki k	【prior study】 collagen disease, endocrine disease 【post study】 post report
3	oral symptoms emerging as partial symptoms of systemic disease No.3 presentation Find an article describing oral symptoms by either of infection disease, blood disease, collagen disease and endocrine disease, and explain it.	practice	Sonoki k	【prior study】 Find an article and prepare to present it 【post study】 post report
4	systemic disease which affects the progress of oral disease No.1 Learn how diabetes mellitus and drug affect the progress of oral disease.	lecture	Sonoki k	【prior study】 diabetes mellitus, drug 【post study】 post report
5	systemic disease which affects the progress of oral disease No.2 presentation Find an article describing the progress of oral symptoms affected by diabetes mellitus or drug, and present it.	practice	Sonoki k	【prior study】 Find an article and prepare to present it 【post study】 post report
6	systemic disease arising from oral disease No.1 Learn about metal allergy and bacteremia/sepsis as the systemic disease arising from oral disease.	lecture	Sonoki k	【prior study】 metal allergy, bacteremia/sepsis 【post study】 post report
7	systemic disease arising from oral disease No.2 Learn about atherosclerotic disease and aspiration pneumonia as the systemic disease arising from oral disease.	lecture	Sonoki k	【prior study】 atherosclerotic disease, aspiration pneumonia 【post study】 post report
	systemic disease arising from oral disease No.3 presentation and inquiry Find an article about either of metal allergy, bacteremia/sepsis, atherosclerotic disease, and aspiration pneumonia as the systemic disease arising from oral disease, and present it. Answer questions from lecturer.	practice	Sonoki k	【prior study】 Find an article and prepare to present it 【post study】 post report

2023

Advanced Oral Health and Welfare Promotion I

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson and seminar	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Akifusa S.						
Instructor(s)	Akifusa S.						

Course Description

The purpose of this course is to lecture on actual activity of community health and welfare promotion. Additionally, to lecture theory and practice of collaboration of medical, health, and welfare section in oral healthcare

Attainment Objectives

The ability to: (1) describe activities community health and welfare activities;
 (2) describe collaboration of medical, health, and welfare section in oral healthcare;
 (3) learn methods to drive the collaboration of medical, health, and welfare section in oral healthcare;
 (4) learn knowledge of methods to practice oral HP/WP in community

Textbooks

Title	Author	Publisher
地方分権時代の健康政策実践書—みんなで楽しくできるヘルスプロモーション (Japanese)	石井 敏弘、中村 譲治、その他	ライフサイエンスセンター

Reference Books

Title	Author	Publisher
国民衛生の動向 (Japanese)	Aut. 厚生労働統計協会編集	
不平等が健康を損なう (Japanese)	Aut. イチロー カワチ,ブルース・P. ケネディ	Pub. 日本評論社
ソーシャル・キャピタルと健康 (Japanese)	Aut. イチロー カワチ	Pub. 日本評論社

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
after-action report on all lectures	80%
practice assignments of No. 5 and 7	20%

Evaluation
 after-action report: 8 × 10 points
 presentation: 2 × 10 points

Etc

Student consultation: at all times

2023

Advanced Oral Health and Welfare Promotion I

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson and seminar	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Akifusa S.						
Instructor(s)	Akifusa S.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	Theory of health promotion To learn general and new methods for health promotion, including PRECEDE-PROCEED model.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: PRECEDE-PROCEED model after: after-action report
2	Welfare activity with oral healthcare To learn roles and ideal state of oral health in welfare for older adults and impaired persons.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: old-age welfare, welfare for the disabled after: after-action report
3	Theory of oral health promotion To learn theories of health promotion in oral health.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: oral health promotion after: after-action report
4	Practice of oral health promotion (1) To learn methods for oral health promotion through examples in municipalities.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: case collection of oral health promotion after: after-action report
5	Practice of oral health promotion (2) To learn methods for oral health promotion through examples in municipalities.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: case collection of oral health promotion after: after-action report
6	Case study on community oral HP/WP (1) To select examples of oral health promotion and welfare from reports of community oral health.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: case collection of oral health promotion and welfare after: after-action report
7	Case study on community oral HP/WP (2) To discuss problem and its solution of oral health in community, selected in previous lecture.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: case collection of oral health promotion and welfare after: after-action report
8	Case study on community oral HP/WP (3) To discuss case studies of problem and its solution of oral health in community by bibliographical consideration.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: case collection of oral health promotion and welfare after: after-action report
9	Case study on community oral HP/WP (4) To discuss case studies of problem and its solution of oral health in community by bibliographical consideration.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: case collection of oral health promotion and welfare after: after-action report

2023

Advanced Oral Health and Welfare Promotion I

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson and seminar	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Akifusa S.						
Instructor(s)	Akifusa S.						

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
10	strategy for community oral HP/WP (1) To extract problems of oral health promotion and welfare of model municipality in Fukuoka prefecture.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: case collection of oral health promotion and welfare after: after-action report
11	Strategy for community oral HP/WP (2) To plan solution for oral health problem of model municipality in Fukuoka prefecture, extracted in previous lecture.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: case collection of oral health promotion and welfare after: after-action report
12	Strategy for community oral HP/WP (3) To plan solution for oral health problem of model municipality in Fukuoka prefecture, extracted in previous lecture.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: case collection of oral health promotion and welfare after: after-action report
13	Strategy for community oral HP/WP (4) To plan solution for oral health problem of model municipality in Fukuoka prefecture, extracted in previous lecture.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: case collection of oral health promotion and welfare after: after-action report
14	Approach to community oral HP/WP To discuss methods for approach to local community through case studies.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: community HP and WP after: after-action report
15	Summary Presentation of summary of this course.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: preparation of presentation after: after-action report

2023

Advanced Cellular Molecular Biology

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Akifusa, S.						
Instructor(s)	Akifusa S.						
	Akifusa S.						

Course Description

The aim of course is; to learn the latest findings in hard tissue and to overview of recent studies on immune function

Attainment Objectives

- (1) To describe outline cellular and molecular biology, such as cellular structure, subcellular organelle, genome, synthesis of protein, intracellular signal transduction;
- (2) To learn basic knowledge for cellular and molecular biological experiments;
- (3) To understand hard tissue;
- (4) To learn basic and applied knowledge on immune study.

Textbooks

Title	Author	Publisher
Molecular Biology of the Cell (7th)	Alberts, Bruce/ Heald, Rebecca/ Johnson, Alexander	WW Norton & Co

Reference Books

Title	Author	Publisher

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
after-action report on No. 1 to 6 lecture	90%
practice assignments of No. 7 and 8	10%

Evaluation
after-action report: 15 × 6 points
examination: 10 points

Etc

Student consultation: at all times

2023

Advanced Cellular Molecular Biology

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Akifusa, S.						
Instructor(s)	Akifusa S.						
	Akifusa S.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	outline of cellular and molecular biology (1) To learn structure of cell, chromosome, and cell organelle of prokaryotic cell eukaryotic cell.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: prokaryotic cell eukaryotic cell, chromosome, cell organelle after: after-action report
2	outline of cellular and molecular biology (2) To learn composition and structure of cytoskeleton, and mechanism of protein synthesis.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: cytoskeleton and proteins[prior learning] cytoskeleton, protein synthesis after: after-
3	outline of cellular and molecular biology (3) To learn intracellular signal transduction regarding intra and extra cell, and various signal transduction cascade	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: intracellular signal transduction[prior learning] intracellular signal transduction, cascade after: after-action report
4	outline of cellular and molecular biology (4) To learn molecular control cell cycle and apoptosis, and molecular interaction in cancer	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: cell cycle and apoptosis[prior learning] cell cycle, apoptosis, molecules in cancer after: after-action report
5	outline of cellular and molecular biology (5) immune system[prior learning] immunology, self recognition	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: immune system[prior learning] immunology, self recognition after: after-action report
6	Function of hard tissue To learn anatomical structure and function of hard tissues including tooth and bone.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: hard tissue, anatomy after: after-action report
7	Differentiation of hard tissue To learn cell function and differentiation in hard tissues.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: hard tissue, cell function, differentiation process after: after-action report
8	Metabolism of hard tissue To learn metabolic process regarding hard tissues remodeling.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: hard tissue, remodeling after: after-action report

2023

Advanced Cellular Molecular Biology

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Akifusa, S.						
Instructor(s)	Akifusa S.						
Instructor(s)	Akifusa S.						

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
9	Diseases of hard tissue To learn metabolic disorder in diseases of hard tissues.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: hard tissue, disease, metabolic disorder after: after-action report
10	Methods used in the research on hard tissue To learn methods of molecular biology regarding hard tissue	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	after-action report
11	Function of immune tissue and cell To learn function of immune tissue and cell in inflammation response.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: inflammatory response, lymphocyte, lymph node after: after-action report
12	Overview of innate immune system To learn mechanism of allorecognition in non-self neutrophils, macrophage, dendritic cell.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: pattern recognition receptor, macrophage, dendritic cell after: after-action report
13	Overview of acquired immune system To learn humoral and cell immunity induced by B and T cell in allorecognition.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: cytotoxic T cell, helper T cell, B cell after: after-action report
14	Immunity and diseases To learn disease developing mechanism in immune functional disorder.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: allergic reaction, autoimmune disease, graft-versus-host disease after: after-action report
15	Overview of recent immune study To learn experimental methods required to carry out immun study.	Lecture (Teams, Moodle)	Akifusa	before: reading journals after: after-action report

2023

Advanced Molecular Nutrition

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson and seminar	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Tsujiwara T						
Instructor(s)	Tsujiwara T., Nakamichi A.						
	Tsujiwara T. Nakamichi A.						

Course Description

Learn the knowledge of nutrition for practice dental health activities with a broad perspective

Attainment Objectives

The ability to:

1. Understand caries nutrition.
2. Understand the nutrition of periodontal disease.
3. Understand undernutrition.
4. Understand nutrition research and nutrition assessment.
5. Understand hunger and metabolism during invasion.
6. Understand the nutrition of lifestyle-related diseases.
7. Understand the concept of nutritional management based on dietary intake standards.
8. Understand the concept of nutritional management according to the intravenous and enteric nutrition guidelines.

Textbooks

Title	Author	Publisher
Dietary Reference Intakes for Japanese (2020)		Ministry of Health, Labour and Welfare

Reference Books

Title	Author	Publisher

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
report	100%

Post-action reports are evaluated using rubrics.

Etc

Consultation is accepted at any time.

2023

Advanced Molecular Nutrition

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson and seminar	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Tsujiisawa T						
Instructor(s)	Tsujiisawa T., Nakamichi A.						
	Tsujiisawa T. Nakamichi A.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	About nutritional management of healthy people 1 Dietary Reference Intakes for Japanese (2020), Energy 1	LecturePractice	Tsujiisawa	Dietary Reference Intakes for Japanese (2020), Energy 1
2	About nutritional management of healthy people 2 Dietary Reference Intakes for Japanese (2020), Energy 2, protein	LecturePractice	Tsujiisawa	after-action report Dietary Reference Intakes for Japanese (2020), Energy 2, protein
3	About nutritional management of healthy people 3 Dietary Reference Intakes for Japanese (2020), Dietary Fat, Carbohydrates	LecturePractice	Tsujiisawa	after-action report Dietary Reference Intakes for Japanese (2020), Dietary Fat, Carbohydrates
4	About nutritional management of healthy people 4 Dietary Reference Intakes for Japanese (2020), Energy Providing Nutrients' Balance, Vitamins, Minerals	LecturePractice	Tsujiisawa	Dietary Reference Intakes for Japanese (2020), Energy Providing Nutrients' Balance, Vitamins, Minerals
5	About nutritional management of healthy people 5 Dietary Reference Intakes for Japanese (2020), Pregnant and lactating women, Infants and children, Elderly person	LecturePractice	Tsujiisawa	after-action report Dietary Reference Intakes for Japanese (2020), Pregnant and lactating women, Infants and children, Elderly person
6	About nutritional management of healthy people 6 Dietary Reference Intakes for Japanese (2020), Relationship between lifestyle-related diseases and energy / nutrients	LecturePractice	Tsujiisawa	after-action report Dietary Reference Intakes for Japanese (2020), Relationship between lifestyle-related diseases and energy / nutrients
7	Nutritional management of the injured and sick 1 Metabolism of hunger and invasion	LecturePractice	Tsujiisawa	Metabolism of hunger and invasion

2023

Advanced Molecular Nutrition

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson and seminar	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Tsujiwara T						
Instructor(s)	Tsujiwara T., Nakamichi A.						
	Tsujiwara T. Nakamichi A.						

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
8	Nutritional management of the injured and sick 2 Nutritional management according to Parenteral and Enteral Nutrition Guidelines	LecturePractice	Tsujiwara	after-action report Parenteral and Enteral Nutrition Guidelines
9	Nutritional management for people who need a special diet Nutritional management of diabetes, hypertension, dyslipidemia, and chronic kidney disease	LecturePractice	Tsujiwara	after-action report Diabetes, High blood pressure, Dyslipidemia, Chronic kidney disease
10	Bacteriology and nutrition of caries 1 Learn about the bacteriology of dental caries, two major dental diseases, from a nutritional perspective	LecturePractice	Tsujiwara	dental caries, cariogenic bacteria, dental caries prevention
11	Bacteriology and nutrition of caries 2 Learn about the bacteriology of dental caries, two major dental diseases, from a nutritional perspective	LecturePractice	Tsujiwara	after-action report dental caries, cariogenic bacteria, dental caries prevention
12	Bacteriology and nutrition of periodontal disease 1 Nutrition of periodontal disease 1	LecturePractice	Tsujiwara	periodontal disease, periodontopathic bacteria, tooth loss and nutrition
13	Bacteriology and nutrition of periodontal disease 2 Nutrition of periodontal disease 2	LecturePractice	Tsujiwara	after-action report periodontal disease, periodontopathic bacteria, tooth loss and nutrition
14	Dental clinical nutrition Think about dental clinical nutrition	LecturePractice	Tsujiwara	Oral flail Tooth loss and dietary habits
15	Community contribution activities Community contribution activities conducted by other occupations	LecturePractice	Tsujiwara	after-action report low salt day, nutrition day, an food and nutrition education white book

2023

Advanced Medical Policy

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Nakamichi A.						
Instructor(s)	Soh I., Nakamichi A.						
	Nakamichi A.,Soh I.						

Course Description

The purpose of this course is to learn medical and health promotion policies, health insurance policies carried out by Japanese government, and concept of health sociology.

Attainment Objectives

The ability to:(1) describe overview of medical and health promotion policies, and social insurance policies;(2) understand Medical Care Act and related policies;(3) understand policies related to medical professions;(4) understand laws and policies related to health promotion;(5) understand Health Insurance Act and related policies;(6) describe concept of health sociology;(7) describe approach methods in health sociology;(8) describe research methods in health sociology;(9) describe genealogy of health and medical sociology;(10) describe objects and domains in health sociology;(11) describe concept of health promotion;(12) understand roles of dental professions in health sociology;

Textbooks

Title	Author	Publisher
Present materials as needed		

Reference Books

Title	Author	Publisher

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
after-action reports	80%
presentation	20%

Etc

Consultation is accepted at any time.

2023

Advanced Medical Policy

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Nakamichi A.						
Instructor(s)	Soh I., Nakamichi A.						
	Nakamichi A.,Soh I.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	Overview of medical policies	Lecture	Soh	review of the lecture
2	Policies related to Medical Care Act 1	Lecture	Soh	review of the lecture
3	Policies related to Medical Care Act 2	Lecture	Soh	review of the lecture
4	Policies related to medical professions	Lecture	Soh	after-action report
5	Policies related to Health Promotion Act	Lecture	Soh	review of the lecture
6	Policies related to Community Health Act	Lecture	Soh	review of the lecture
7	Overview of social insurance policies	Lecture	Soh	review of the lecture
8	Policies related to Health Insurance Act	Lecture	Soh	after-action report
9	Theory of health sociology	Lecture	Nakamichi	after-action report
10	Approach methods in health sociology	Lecture	Nakamichi	after-action report
11	Research methods in health sociology	Lecture	Nakamichi	after-action report
12	Genealogy of health and medical sociology	Lecture	Nakamichi	after-action report
13	Objects and domains in health sociology	Lecture	Nakamichi	after-action report
14	Health promotion	Lecture	Soh	after-action report
15	Conclusion	Lecture	Soh	after-action report

2023

Advanced Functional Support for Elderly persons

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Izumi M.						
Instructor(s)	Izumi M.						

Course Description

The purpose of this course is to lecture on role of dental hygienist in support for life and extension of the healthy life expectancy in older adults.

Attainment Objectives

The ability to:

- describe the general condition for oral Frailty Syndrome.
- describe association of dental hygienist in medical care and nursing care for older adults.
- describe oral health management for the elderly.
- describe nursing care techniques and meal support for older adults.
- describe the evaluation method of oral function.
- carefully read research papers on older adults.

Textbooks

Title	Author	Publisher
References documents, material are edited in Japanese		
在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術 Japanese	秋房住郎・泉繭依	永末書店

Reference Books

Title	Author	Publisher
歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション(Japanese)	社団法人日本歯科衛生士会 監修	医歯薬出版
摂食・嚥下リハビリテーション 第3版 (Japanese)	才藤栄一・向井美恵	医歯薬出版

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
report	100%

Evaluation by report based on graduate school rubric assessment criteria.

Etc

Student consultation: Accepted by e-mail at any time.

2023

Advanced Functional Support for Elderly persons

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Izumi M.						
Instructor(s)	Izumi M.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	Present issues of super aging society	Lecture (Teams, Moodle)	Izumi	report
2	Present issues of super aging society and medical system	Lecture (Teams, Moodle)	Izumi	report
3	Present issues of super aging society and long-term care insurance system	Lecture (Teams, Moodle)	Izumi	report
4	Oral health management for older adults 1	Lecture (Teams, Moodle)	Izumi	report
5	Oral health management for older adults 2	Lecture (Teams, Moodle)	Izumi	report
6	Oral health management for older adults 3	Lecture (Teams, Moodle)	Izumi	report
7	Fixation assistance of body and assistance to move body1	Lecture (Teams, Moodle)	Izumi	report
8	Diagnosis and evaluation of oral function 1	Lecture (Teams, Moodle)	Izumi	report
9	Diagnosis and evaluation of oral function 2	Lecture (Teams, Moodle)	Izumi	report
10	Diagnosis and evaluation of oral function 3	Lecture (Teams, Moodle)	Izumi	report
11	Diagnosis and evaluation of oral function 4	Lecture (Teams, Moodle)	Izumi	report
12	Search papers on motivation for oral health management	Lecture (Teams, Moodle)	Izumi	report
13	Search papers on living instruction and nutrition guidance	Lecture (Teams, Moodle)	Izumi	report
14	Search papers on oral function training	Lecture (Teams, Moodle)	Izumi	report
15	Search papers on multi-occupation collaboration	Practice (Teams, Moodle)	Izumi	report

2023

Advanced Professional Oral Health Care

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time		Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Funahara M.						
Instructor(s)	Nakamichi A., Funahara M.						
	Nakamichi A. Funahara M.						

Course Description

The purpose of this course is to provide students with the knowledge to play a central role in oral health-related work in hospitals and community health centers that serve acute patients.

Attainment Objectives

1. Able to give an overview of oral function management in the acute phase.
2. Explain the purpose of oral function management in the acute phase.
3. Able to describe oral adverse events in acute patients.
4. To explain the oral hygiene management of intubated patients.
5. Able to explain the oral management of patients undergoing palliative care.

Textbooks

Title	Author	Publisher

Reference Books

Title	Author	Publisher
エビデンスに基づいた周術期口腔機能管理	梅田正博、五月女さき子	医歯薬出版
がん患者の口腔ケア	日本口腔ケア学会 学術委員会	医学書院
改定版：周術期口腔機能管理の基本がわかる本	梅田正博	クインテッセンス出版

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
Report or presentation	100%

- ・ The reports assignment and a PowerPoint presentation assignment will be presented according to the readiness of the students.
- ・ Rubrics will be used for evaluation. Evaluation criteria will be presented to students in advance.

Etc

Student Counseling: Monday-Friday, 16:30-17:30 Please contact us at the 61 office or by e-mail.
Students will be instructed on prior and post-study assignments and methods depending on their learning progress.

2023

Advanced Professional Oral Health Care

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time		Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Funahara M.						
Instructor(s)	Nakamichi A., Funahara M.						
	Nakamichi A. Funahara M.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	The general theory of oral function management in the acute phase <ul style="list-style-type: none"> • Able to explain about the target patients for perioperative oral function management 	Lecture	Funahara	[keyword] What is the perioperative period?
2	Oral symptoms and problems of cancer patients <ul style="list-style-type: none"> • Able to explain the oral symptoms of cancer patients. • Able to explain the types of cancer treatment and oral adverse events. 	Lecture	Funahara	[keyword] Cancer treatment (chemotherapy, radiation therapy, surgery)
3	Oral Cancer Surgery and Oral Management Surgery and oral management for other than oral cancer <ul style="list-style-type: none"> • Able to explain the oral management before and after surgery and postoperative oral adverse events 	Lecture	Funahara	[keyword] Postoperative wound infection
4	Oral management for intubated patients <ul style="list-style-type: none"> • Able to explain preoperative dental treatment, dental hygiene instruction, and oral hygiene management for patients scheduled for surgery under general anesthesia. • Able to explain oral cleaning methods to prevent ventilator-associated pneumonia for patients on ventilators. 	Lecture	Funahara	[keyword] VAP
5	Oral Cancer Radiation Therapy and Oral Management <ul style="list-style-type: none"> • Can list adverse oral events during radiation therapy for oral cancer • Able to explain to patients about adverse events after oral cancer radiation therapy and preventive measures 	Lecture	Funahara	[keyword] Oral cancer, Oral mucositis
6	Oral Cancer Chemotherapy and Oral Management Chemotherapy other than oral cancer and oral management <ul style="list-style-type: none"> • Able to explain the adverse oral events that may occur during chemotherapy in chronological order • Able to explain systemic side effects during chemotherapy in chronological order • Able to explain oral hygiene management considering systemic side effects during chemotherapy 	Lecture	Funahara	[keyword] Chemical treatment, Anti-cancer agent, Nadia period
7	Oral management for patients planning organ transplantation <ul style="list-style-type: none"> • Able to explain the process of undergoing organ transplant surgery • Able to explain adverse events that appear in the oral cavity of patients undergoing organ transplant surgery • Able to explain the points to be noted after surgery for patients undergoing organ transplant surgery by a dental hygienist 	Lecture	Funahara	[keyword] Organ transplantation
8	Cardiovascular surgery and oral management <ul style="list-style-type: none"> • Able to explain the necessity of dental treatment before cardiovascular surgery and points to keep in mind during dental treatment. • Able to explain the necessity and method of oral hygiene management after cardiovascular surgery 	Lecture	Funahara	[keyword] Cardiovascular surgery, IE
9	Home care cancer patients and oral care <ul style="list-style-type: none"> • Able to explain the oral symptoms and problems of cancer patients undergoing home care • Able to explain cooperation with multiple occupations in community-based comprehensive care 	Lecture	Funahara	[keyword] Community-based comprehensive care system
10	Oral management in palliative care <ul style="list-style-type: none"> • Able to explain the need for notification • Able to explain the process of accepting death • Able to explain how to assess and control pain in people in the final stages of life • Able to explain care for pain relief related to the oral cavity • Able to explain family care (grief care) after death 	Lecture	Funahara	[keyword] Notice, Palliative care, Grief care, one's view of life and death

2023

Advanced Professional Oral Health Care

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time		Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Funahara M.						
Instructor(s)	Nakamichi A., Funahara M.						
	Nakamichi A. Funahara M.						

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
11	Multidisciplinary collaboration ・ Able to describe multiple occupations related to the acute phase ・ Able to explain the role of dental hygienists in collaboration with multiple occupations	Lecture	Funahara	[keyword] Respiratory support team, Nutrition support team, Palliative care team
12	Oral management planning in the acute phase using the dental hygiene process (1) ・ Using the dental hygiene process, it is possible to formulate an oral management plan in the acute phase.	Lecture, Practice	Funahara, Nakamichi	[keyword] Instruct students according to their readiness
13	Oral management planning in the acute phase using the dental hygiene process (2) ・ Using the dental hygiene process, it is possible to formulate an oral management plan in the acute phase.	Lecture, Practice	Funahara, Nakamichi	[keyword] Instruct students according to their readiness
14	Oral management planning in the acute phase using the dental hygiene process (3) ・ Using the dental hygiene process, it is possible to formulate an oral management plan in the acute phase.	Lecture, Practice	Funahara, Nakamichi	[keyword] Instruct students according to their readiness
15	Comprehensive discussion ・ Discussions can be held with an understanding of the roles and collaborations of multiple occupations for the presented cases.	Lecture	Funahara	[keyword] Instruct students according to their readiness

2023

Dysphagia Rehabilitation (Advanced)

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Fujii W.						
Instructor(s)	Fujii W.						
	Fujii W.						

Course Description

In order to maintain and improve the quality of life of elderly people in super aged society, dental hygienists understand dysphagia and master knowledge and skills necessary for practicing and instructing the dysphagia rehabilitation.

Attainment Objectives

The ability to describe:educate to comprehensively studying the dysphagia.

Textbooks

Title	Author	Publisher

Reference Books

Title	Author	Publisher
Dysphagia rehabilitation 3rd edition	Eiichi Saitoh et.al.	ishiyaku publishers Inc.

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
Credential examination	80%
Report	10%
Presentation	10%

Report and resenatation will be evaluated by the pre-presented rubric

Etc

You can ask your study-counsel before or after the lessons. Email is available at any time.

2023

Dysphagia Rehabilitation (Advanced)

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Fujii W.						
Instructor(s)	Fujii W.						
Instructor(s)	Fujii W.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	What is rehabilitation ?	Lecture	Fujii	Prior learning rehabilitation, after-action report
2	What is swallowing ?	Lecture	Fujii	Prior learning swallowing, after-action report
3	What is dysphagia ?	Lecture	Fujii	Prior learning dysphagia, after-action report
4	Dysphagia of children	Lecture	Fujii	Prior learning dysphagia of children, after-action report
5	Dysphagia of elderly people	Lecture	Fujii	Prior learning dysphagia of elderly people, after-action report
6	Medical interview and screening about dysphagia	Lecture and practice	Fujii	Prior learning medical interview and screening about dysphagia, after-action report
7	VF in dysphagia	Lecture	Fujii	Prior learning VF, after-action report
8	VE in dysphagia	Lecture	Fujii	Prior learning VE, after-action report
9	Dental hygiene management for dysphagia	Lecture and practice	Fujii	Prior learning dental hygiene management, after-action report
10	Indirect training on dysphagia	Lecture and practice	Fujii	Prior learning indirect training, after-action report
11	Direct training on dysphagia	Lecture and practice	Fujii	Prior learning direct training, after-action report
12	Nutrition management and Food form for dysphagia	Lecture and practice	Fujii	Prior learning nutrition management and food form, after-action report
13	Transdisciplinary approach for dysphagia	Lecture	Fujii	Prior learning transdisciplinary approach, after-action report

2023

Dysphagia Rehabilitation (Advanced)

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Fujii W.						
Instructor(s)	Fujii W.						
	Fujii W.						

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
14	Case presentation	Presentation	Fujii	Prior learning preparation of case summaries, after-action report
15	Summary, examination, credential exam	Test	Fujii	Prior learning preparation of examination, after-action reportfinal report

2023

Advanced Oral Epidemiology and Statistics

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Soh I.						
Instructor(s)	Soh I.						

Course Description

This course deals with epidemiological and basic statistical knowledge to conduct oral health research. The aim of this course is to help students acquire an understanding of principles and methodologies of epidemiology.

Attainment Objectives

By the end of the course, students should be able to do following;(1) Describe and explain the roles and relationships between epidemiology and biostatistics in the prevention of disease and the improvement of health.(2) Describe and explain methodologies of descriptive epidemiology for identifying problems and establishing hypotheses.(3) Describe and explain methodologies of analytical epidemiology for clarifying risk and protector factors of diseases.(4) Describe and explain the concept of confounding and causality.

Textbooks

Title	Author	Publisher

Reference Books

Title	Author	Publisher
Designing Clinical Research, 4th Edition 2013	Stephen B Hulley	A Guide for Clinicians & Laboratory
Epidemiology An Introduction 2ndvEdition	Kenneth J. Rothman	Oxford University Press, Inc.

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
reports	80%
discussion	20%

Evaluation
after-action reports: 80 points
discussion: 20 points

Etc

Student consultation: at all times

2023

Advanced Oral Epidemiology and Statistics

Grades	1 grade	Semester (or Term)	All Season	Subject	専門選択科目 I	Credits	2.0
Methods	lesson	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Soh I.						
Instructor(s)	Soh I.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1,2	Epidemiological theory—Disease frequencyYou will learn disease frequency based on epidemiological indicators.	Lecture	Soh	Learning material will be distributed in advance.after-action report
3~5	Epidemiological theory—Designing researchYou will learn principles and methodologies of descriptive and analytical epidemiology and intervention study.	Lecture	Soh	Learning material will be distributed in advance.after-action report
6,7	Epidemiological theory—Bias and confoundingYou will learn controlling methods of bias and confounding based on designing research.	Lecture	Soh	Learning material will be distributed in advance.after-action report
8,9	CausalityYou will learn causality based on designing research.	Lecture	Soh	Learning material will be distributed in advance.after-action report
10	Epidemiological theory—Formulating the research hypothesisYou will learn formulating the research hypothesis based on literature research.	Lecture	Soh	Learning material will be distributed in advance.after-action report
11	Health care service evaluation in oral health care policyYou will learn health care service evaluation methods in oral health care policy based on concrete examples.	Lecture	Soh	Learning material will be distributed in advance.after-action report
12,13	biostatistics—Random error and role of statistics	Lecture	Soh	Learning material will be distributed in advance.after-action report
14	biostatistics—Analyzing simple epidemiology data	Lecture	Soh	Learning material will be distributed in advance.after-action report
15	biostatistics—Using regression models in epidemiologic analysis	Lecture	Soh	Learning material will be distributed in advance.after-action report

2023

Seminar of Cellular Molecular Biology

Grades	1- 2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	lesson and seminar	Total time	60.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	TsujiSawa T.						
Instructor(s)	Akifusa S., TsujiSawa T.						
	Akifusa S. TsujiSawa T.						

Course Description

The purpose of this course is to learn on theory, application and experimental methods used in the area of cell and molecular biology.

Attainment Objectives

The ability to: (1) describe experimental principal and procedures in cell culture;(2) describe detection method of cell differentiation;(3) describe detection method of cell activation;(4) describe detection method of apoptotic cell death; (5) describe method of isolation and analysis of protein; (6) describe method of DNA analysis;

Textbooks

Title	Author	Publisher

Reference Books

Title	Author	Publisher
バイオ実験イラストレイテッド(細胞工学別冊 目で見える実験ノートシリーズ)		Pub. 秀潤社
<1> 分子生物学実験の基礎		
<2> 遺伝子解析の基礎		
<3+> 本当にふえるPCR		
<5> タンパクなんてこわくない		
<6> すくすく育て細胞培養		
・マウス・ラット実験ノートーはじめての取り扱い、飼育法から投与、解剖、分子生物学的手法まで(無敵のバイオテクニカルシリーズ)		Pub. 羊土社

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
after-action report on No. 3 to 30 lectures	100%

Post-action reports are evaluated using rubrics.

Etc

Consultation is accepted at any time.

2023

Seminar of Cellular Molecular Biology

Grades	1- 2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	lesson and seminar	Total time	60.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Tsujiisawa T.						
Instructor(s)	Akifusa S., Tsujiisawa T.						
	Akifusa S. Tsujiisawa T.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	Cell culture #1	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiisawa	[prior learning] cell culture, culture medium, aseptic treatment
2	Cell culture #2	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiisawa	[prior learning] cell separation, adherent cell, floating cell
3	Cell culture #3	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiisawa	[prior learning] cell preservation, dispensation, liquid nitrogen after-action report
4	Handling of experimental animal #1	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiisawa	[prior learning] mouse, rat
5	Handling of experimental animal #2	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiisawa	[prior learning] oral administration, intravenous administration, intraperitoneal administration
6	Handling of experimental animal #3	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiisawa	[prior learning] blood collection after-action report
7	Cell preparation from tissue #1	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiisawa	[prior learning] inhalation anesthesia, injection anesthesia
8	Cell preparation from tissue #2	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiisawa	[prior learning] spleen, bone marrow, abdominal cavity, macrophage
9	Cell preparation from tissue #3	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiisawa	[prior learning] osteoblast, primary cell after-action report
10	Cell differentiation #1	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiisawa	[prior learning] mesenchymal stem cell, differentiation
11	Cell differentiation #2	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiisawa	[prior learning] osteoblast, differentiation
12	Cell differentiation #3	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiisawa	[prior learning] cell line, differentiation after-action report
13	Cell activation #1	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiisawa	[prior learning] lymphocyte

2023

Seminar of Cellular Molecular Biology

Grades	1- 2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	lesson and seminar	Total time	60.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Tsujiwasa T.						
Instructor(s)	Akifusa S., Tsujiwasa T.						
	Akifusa S. Tsujiwasa T.						

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
14	Cell activation #2	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] osteoclast
15	Cell activation #3	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] adipokine, immunology after-action report
16	Apoptosis #1	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] apoptosis
17	Apoptosis #2	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] osteoclast, macrophage, apoptosis
18	Apoptosis #3	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] apoptosis after-action report
19	DNA analysis by PCR #1	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] PCR, RT-PCR
20	DNA analysis by PCR #2	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] DNA, preparation, assay
21	DNA analysis by PCR #3	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] DNA, agarose gel electrophoresis after-action report
22	Isolation and quantification of protein #1	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] protein preparation
23	Isolation and quantification of protein #2	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] protein, assay
24	Isolation and quantification of protein #3	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] protein separation after-action report
25	Protein analysis by SDS-PAGE #1	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] protein, SDS-PAGE
26	Protein analysis by SDS-PAGE #2	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] acrylamide gel
27	Protein analysis by SDS-PAGE #3	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] gel, staining after-action report
28	Protein analysis by Western-blotting #1	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] Western Blotting, ELISA
29	Protein analysis by Western-blotting #2	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujiwasa	[prior learning] PVDF, transcription, blocking

2023

Seminar of Cellular Molecular Biology

Grades	1- 2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Spcialized II)	Credits	4.0
Methods	lesson and seminar	Total time	60.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Tsujisawa T.						
Instructor(s)	Akifusa S., Tsujisawa T.						
	Akifusa S. Tsujisawa T.						

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
30	Protein analysis by Western-blotting #3	Lecture and Practice	Akifusa, Tsujisawa	[prior learning] antibody, primary, secondary after-action report

2023

Seminar of Molecular Nutrition

Grades	1- 2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	lesson and seminar	Total time	60.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Tsujiisawa T						
Instructor(s)	Tsujiisawa T.						

Course Description

For practice dental health activities with a broad perspective, reading nutrition-related papers

Attainment Objectives

The ability to

1. explain logically
2. Understand and explain the principle of research methods
3. Understand and explain interpretation of results

Textbooks

Title	Author	Publisher

Reference Books

Title	Author	Publisher

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
presentation	50%
Question-and-answer session	50%

Post-action reports are evaluated using rubrics.

Etc

Consultation is accepted at any time.

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1~30	Read the literature on nutrition and learn the background of the research, the content of the literature, and the future prospects of research in related fields.	<ul style="list-style-type: none"> • Reading papers • Make presentation documents • Discussion 	Tsujiisawa	<ul style="list-style-type: none"> • Searching and reading research papers • Documentation

2023

Seminar of Functional Support for Elderly persons

Grades	1- 2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	seminar	Total time	60.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Izumi M.						
Instructor(s)	Izumi M.						

Course Description

Practice oral function assessment, nursing care techniques and meal support for oral health management.

Attainment Objectives

The ability to: · Perform diagnostic examinations of oral function · Care assistance techniques for oral health management · Dietary support for oral health management · Oral health management according to various diseases · Conduct oral function assessment

Textbooks

Title	Author	Publisher
References documents, material are edited in Japanes		
在宅・施設で行う口腔ケアに必要な介護技術 Japanese	秋房住郎・泉繭依	永末書店

Reference Books

Title	Author	Publisher
摂食・嚥下リハビリテーション 第3版 (Japanese)	才藤栄一・向井美恵	医歯薬出版
歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション (Japanese)	社団法人日本歯科衛生士会 監修	医歯薬出版

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
report	100%

evaluation based on graduate school rubric assessment criteria.

Etc

Student consultation: Accepted by e-mail at any time.

2023

Seminar of Functional Support for Elderly persons

Grades	1- 2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	seminar	Total time	60.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Izumi M.						
Instructor(s)	Izumi M.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	Diagnosis and evaluation of oral function 1-1 Practice evaluating various swallowing functions that can be performed by many professions	Practice	Izumi	report
2	Diagnosis and evaluation of oral function 1-2 Practice evaluating various swallowing functions that can be performed by many professions	Practice	Izumi	report
3	Diagnosis and evaluation of oral function 2-1 Practice evaluation of mouth cleaning, tongue and mouth dryness	Practice	Izumi	report
4	Diagnosis and evaluation of oral function 2-2 Practice evaluation of mouth cleaning, tongue and mouth dryness	Practice	Izumi	report
5	Diagnosis and evaluation of oral function 3-1 Practice evaluation of tongue, motor function, low tongue pressure, evaluation of chewing function	Practice	Izumi	report
6	Diagnosis and evaluation of oral function 3-2 Practice evaluation of tongue, motor function, low tongue pressure, evaluation of chewing function	Practice	Izumi	report
7	Case 1-1: sequelae of cerebrovascular disease	Practice	Izumi	report
8	Case 1-2: sequelae of cerebrovascular disease	Practice	Izumi	report
9	Case 1-3: sequelae of cerebrovascular disease	Practice	Izumi	report
10	Case 2-1: Dementia	Practice	Izumi	report
11	Case 2-2: Dementia	Practice	Izumi	report
12	Case 2-3: Dementia	Practice	Izumi	report
13	Case 3-1: Disuse syndrome	Practice	Izumi	report
14	Case 3-2: Disuse syndrome	Practice	Izumi	report
15	Case 3-3: Disuse syndrome	Practice	Izumi	report
16	Assuring posture and assisting in movement 1	Practice	Izumi	report
17	Assuring posture and assisting in movement 2	Practice	Izumi	report
18	Assuring posture and assisting in movement 3	Practice	Izumi	report
19	Indirect oral function training 1	Practice	Izumi	report
20	Indirect oral function training 2	Practice	Izumi	report
21	Indirect oral function training 3	Practice	Izumi	report
22	Meal support 1	Practice	Izumi	report
23	Meal support 2	Practice	Izumi	report
24	Meal support 3	Practice	Izumi	after-action report
25	Dental hygiene research related to the older adults 1	Practice	Izumi	report

2023

Seminar of Functional Support for Elderly persons

Grades	1- 2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	seminar	Total time	60.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Izumi M.						
Instructor(s)	Izumi M.						

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
26	Dental hygiene research related to the older adults 2	Practice	Izumi	report
27	Practice of oral function evaluation 1	Practice	Izumi	report
28	Practice of oral function evaluation 2	Practice	Izumi	report
29	Practice of oral function evaluation 3	Practice	Izumi	report
30	Practice of oral function evaluation 4	Practice	Izumi	report

2023

Seminar of Professional Oral Health Care

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	seminar	Total time		Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Funahara M.						
Instructor(s)	Nakamichi A., Funahara M.						

Course Description

Acquire the knowledge and skills necessary for acute oral function management.

This lecture is based on the Diploma Policy of the Department of Oral Health, Graduate School of Dentistry, University of Tokyo.

- Practicing oral health activities based on scientific evidence
- Can carry out oral health activities from the perspective of general health for all generations
- We can contribute to society through oral health activities by proactively collaborating with multiple occupations.

Contribute to the development of abilities.

Attainment Objectives

1. Explain the role of dental hygienists in the acute phase
2. Can perform oral management for patients receiving oral cancer treatment
3. Oral management can be performed for patients receiving cancer treatment other than oral cancer
4. Oral management can be performed for patients undergoing surgery other than cancer
5. Can carry out oral hygiene management for intubated patients
6. For patients receiving palliative care, oral management can be carried out in collaboration with other occupations.
7. Can create a dental hygiene process in the acute phase

Textbooks

Title	Author	Publisher

Reference Books

Title	Author	Publisher
がん患者の口腔ケア	日本口腔ケア学会 学術委員会	医学書院
エビデンスに基づいた周術期口腔機能管理	梅田正博、五月女 さき子	医歯薬出版
改定版：周術期口腔機能管理の基本がわかる本	梅田正博	クインテッセンス 出版

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
Report or presentation	70%
Pre-lecture oral examinations	30%

Evaluate the post-exercise report.

Oral examinations will be given before lectures and exercises on the items listed as pre-learning tasks.

Etc

Student Counseling: Monday-Friday, 16:30-17:30 Please contact us at the 61 office or by e-mail.

Students will be instructed on prior and post-study assignments and methods depending on their learning progress.

2023

Seminar of Professional Oral Health Care

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	seminar	Total time		Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Funahara M.						
Instructor(s)	Nakamichi A., Funahara M.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	Able to explain the role of the dental hygienist in acute care (1)	Lecture, Practice	Funahara, Nakamichi	[keyword] Instruct students according to their readiness
2	Able to explain the role of the dental hygienist in acute care (2)	Lecture, Practice	Funahara	[keyword] Instruct students according to their readiness
3	Oral symptoms and problems of cancer patients <ul style="list-style-type: none"> • Able to explain the oral symptoms of cancer patients. • Able to explain the types of cancer treatment and oral adverse events. 	Lecture, Practice	Funahara	[keyword] Cancer treatment (chemotherapy, radiation therapy, surgery)
4	Basic oral management techniques <ul style="list-style-type: none"> • Able to imitate the use and basic techniques of the supplies used for oral management in the acute phase. 	Lecture, Practice	Funahara	[keyword] Mouthwash, Sponge brush, Toothbrush, Oral moisturizers, Oral suction machine
5	Oral cancer surgery patient case (1) <ul style="list-style-type: none"> • Able to review cases and create and develop oral hygiene management plans 	Practice	Funahara	[keyword] Oral cancer, Surgical site infection
6	Oral cancer surgery patient case (2) <ul style="list-style-type: none"> • Able to review cases and create and develop oral hygiene management plans 	Practice	Funahara	[keyword] Oral cancer, Surgical site infection
7	Surgical patient cases other than oral cancer <ul style="list-style-type: none"> • Able to review cases and create and develop oral hygiene management plans 	Practice	Funahara	[keyword] Instruct students according to their readiness
8	Oral management planning for intubated patients (1) <ul style="list-style-type: none"> • Able to review cases and develop an oral management plan for intubated patients undergoing surgery, based on pre-and post-operative problems and oral adverse 	Practice	Funahara	[keyword] Oral intubation, VAP
9	Oral management planning for intubated patients (2) <ul style="list-style-type: none"> • Able to review cases and develop an oral management plan for intubated patients undergoing surgery, based on pre-and post-operative problems and oral adverse 	Practice	Funahara	[keyword] Oral intubation, VAP
10	Oral cancer radiotherapy case (1) <ul style="list-style-type: none"> • Able to create an oral hygiene management plan for patients undergoing radiation therapy for oral cancer, taking into account systemic symptoms and oral adverse events. 	Practice	Funahara	[keyword] Radiotherapy
11	Oral cancer radiotherapy case (2) <ul style="list-style-type: none"> • Able to create an oral hygiene management plan for patients undergoing radiation therapy for oral cancer, taking into account systemic symptoms and oral adverse events. 	Practice	Funahara	[keyword] Osteoradionecrosis
12	Oral cancer chemotherapy case (1) <ul style="list-style-type: none"> • Able to create an oral hygiene management plan for patients undergoing chemotherapy for oral cancer, taking into account systemic symptoms and oral adverse events. 	Practice	Funahara	[keyword] Chemotherapy, Anti-cancer agent, Nadir

2023

Seminar of Professional Oral Health Care

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	seminar	Total time		Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Funahara M.						
Instructor(s)	Nakamichi A., Funahara M.						

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
13	Oral cancer chemotherapy case (2) <ul style="list-style-type: none"> · Able to create an oral hygiene management plan for patients undergoing chemotherapy for oral cancer, taking into account systemic symptoms and oral adverse events. 	Practice	Funahara	[キーワード] Oral mucositis, Molecular targeted drugs
14	Case study of a patient with MRONJ <ul style="list-style-type: none"> · Able to create an oral hygiene management plan that targets measures to prevent the development of MRONJ and prevention of deterioration after MRONJ development, to be performed as a dental hygienist. 	Lecture, Practice	Funahara	[keyword] Medication-Related Osteonecrosis of the Jaw, Osteoporosis, Bisphosphonate
15	Case study of a patient with MRONJ (2) <ul style="list-style-type: none"> · Able to create an oral hygiene management plan that targets measures to prevent the development of MRONJ and prevention of deterioration after MRONJ development, to be performed as a dental hygienist. 	Practice	Funahara	[keyword] Instruct students according to their readiness
16	Cardiovascular surgery cases <ul style="list-style-type: none"> · Able to create an oral hygiene management plan for patients scheduled for cardiovascular surgery, taking into account systemic symptoms and oral adverse events. 	Practice	Funahara	[keyword] Stenocardia, cardiac tamponade, Cardiovascular surgery, IE, periodontal disease
17	Cancer Patients Treated at Home <ul style="list-style-type: none"> · Able to create an oral hygiene management plan for cancer patients treated at home, taking into account systemic symptoms and oral adverse events. 	Practice	Funahara	[keyword] Community-based comprehensive care system
18	Palliative Medicine and Palliative Care <ul style="list-style-type: none"> · Able to explain basic knowledge of palliative medicine and palliative care 	Lecture, Practice	Funahara	[keyword] Instruct students according to their readiness
19	Palliative Care Cases <ul style="list-style-type: none"> · Able to create an oral hygiene management plan for patients receiving palliative care, taking into account their systemic symptoms and oral adverse events. 	Practice	Funahara	[keyword] Disease Notification, Palliative care, Grief care, View of life and death, Xerostomia
20	Multidisciplinary collaboration in the acute phase <ul style="list-style-type: none"> · Able to prepare a contact sheet for the purpose of communicating oral health information necessary for multidisciplinary collaboration in the acute phase. 	Practice	Funahara	[keyword] NST, RST, Palliative care team

2023

Seminar of Community Dental Hygiene Practice

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	lesson and seminar	Total time	60.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Nakamichi A.						
Instructor(s)	Soh I., Tsujisawa T., Nakamichi A., Izumi M., Funahara M., Honda H.						
	Funahara M., Honda H.						

Course Description

To learn the role of the dental hygienist to support the health of people.

Attainment Objectives

1. The role of dental hygienist to community health. 2. Contents of the community oral health activity. 3. The plan of the community oral health activity. 4. Practice of the community oral health activity. 5. An evaluation of the community oral health activity. 6. Cooperate with people concerned with the making of health of the community people.

Textbooks

Title	Author	Publisher

Reference Books

Title	Author	Publisher
フレイル 超高齢社会における重要課題と予防戦略	葛谷雅文	医歯薬出版
子どもの口腔機能を育てる本	浜野美幸	医歯薬出版

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
after-action reports	80%
presentation	20%

Etc

Consultation is accepted at any time.

2023

Seminar of Community Dental Hygiene Practice

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	lesson and seminar	Total time	60.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Nakamichi A.						
Instructor(s)	Soh I., Tsujisawa T., Nakamichi A., Izumi M., Funahara M., Honda H.						
	Funahara M., Honda H.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	Basics of community oral health activity	lecture and discussion	Nakamichi A.	[Key words] Community oral health
2	Basics of community oral health activity	lecture and discussion	Nakamichi A.	Community oral health
3	Community oral health activity ① collect information	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
4	Community oral health activity ① planning	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
5	Community oral health activity ① plactice	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
6	Community oral health activity ① plactice	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
7	Community oral health activity ① plactice	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
8	Community oral health activity ① plactice	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
9	Community oral health activity ① evaluation feedback	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
10	Community oral health activity ① feedback	discussion	Nakamichi A.	[Key words] Community oral health, Dental hygienist
11	Community oral health activity to an elderly person collect information	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
12	Community oral health activity to an elderly person planning	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
13	Community oral health activity to an elderly person plactice	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
14	Community oral health activity to an elderly person plactice	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
15	Community oral health activity to an elderly person plactice	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
16	Community oral health activity to an elderly person plactice	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
17	Community oral health activity to an elderly person evaluation	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
18	Community oral health activity to an elderly person feedback	discussion	Nakamichi A.	[Key words] Appetite, Oral function decline
19	Community oral health activity ② collect information	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
20	Community oral health activity ② planning	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
21	Community oral health activity ② plactice	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
22	Community oral health activity ② plactice	plactice	Nakamichi A.	after-action reports

2023

Seminar of Community Dental Hygiene Practice

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	lesson and seminar	Total time	60.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Nakamichi A.						
Instructor(s)	Soh I., Tsujisawa T., Nakamichi A., Izumi M., Funahara M., Honda H.						
	Funahara M., Honda H.						

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
23	Community oral health activity ② plactice	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
24	Community oral health activity ② plactice	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
25	Community oral health activity ② evaluation	plactice	Nakamichi A.	after-action reports
26	Community oral health activity ② feedback	discussion	Nakamichi A.	[Key words] Dental Hygiene Practice, Life stage
27	Prospects of the dental hygienist activity to community	discussion	Nakamichi A.	Your idea
28	Prospects of the dental hygienist activity to community	discussion	Nakamichi A.	Your idea
29	Latest research trends	discussion	Nakamichi A.	Paper report
30	Latest research trends	discussion	Nakamichi A.	Paper report

2023

Seminar of Dysphagia Rehabilitation

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	seminar	Total time	30.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Fujii W.						
Instructor(s)	Fujii W.						
	Fujii W.						

Course Description

Searching paper and reading to find out trend of the latest research related to dysphagia rehabilitation. Presentation and discussion of each research content will be conducted and future research.

Attainment Objectives

To acquire full knowledge and skills for research and presentation, you will read and present international papers related your research to acquire logical thinking as well as international point of view. You should achieve following assignments; · Collect international papers related to your research · Read and present papers · Acquire presentation skills · Case Presentation

Textbooks

Title	Author	Publisher

Reference Books

Title	Author	Publisher
Choose an article that you would like to share the content and discuss about it with members.		

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
Presentation	80%
Report	20%

Presentation will be evaluated by the pre-presented rubric

Etc

You can ask your study-counsel before or after the seminars. Email is available at any time.

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1~60	Understand the article and introduce it including the background of the study. Presentation of research.	Lecture and practice including presentation and discussion. Discussion of Research.	Fujii	Reading papers Preparation of research results, and presentation

2023

Seminar of Oral Epidemiology and Statistics

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	lesson and seminar	Total time	60.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Soh I.						
Instructor(s)	Soh I.						

Course Description

This course deals with epidemiological and basic statistical knowledge to conduct oral health research. The aim of this course is to help students acquire an understanding of principles and methodologies of epidemiology by lectures, and an understanding of biostatistical concepts by analyzing data, using the statistical software.

Attainment Objectives

By the end of the course, students should be able to do following;(1) Describe and explain the roles and relationships between epidemiology and biostatistics in the prevention of disease and the improvement of health.(2) Acquisition of methodologies of descriptive epidemiology for identifying problems and establishing hypotheses.(3) Acquisition of methodologies of analytical epidemiology for clarifying risk and protector factors of diseases.(4) Describe and explain the concept of confounding.(5) Conduct statistical analyses using the statistical software EZR.

Textbooks

Title	Author	Publisher

Reference Books

Title	Author	Publisher
Designing Clinical Research, 4th Edition 2013	Stephen B Hulley	A Guide for Clinicians & Laboratory
Epidemiology An Introduction 2ndvEdition	Kenneth J. Rothman	Oxford University Press, Inc.

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
reports	50%
presentations	50%

Etc

You can ask your study-counsel before or after the lessons. Email is available at any time.

2023

Seminar of Oral Epidemiology and Statistics

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized II)	Credits	4.0
Methods	lesson and seminar	Total time	60.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Soh I.						
Instructor(s)	Soh I.						

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	Epidemiological theory—Disease frequencyYou will learn disease frequency based on epidemiological indicators.	LecturePresentation	Soh	Documentation and presentation
2,3	Oral health care data analysis — summary statisticsYou will learn summary statistics, using the statistical software EZR.	LecturePractice	Soh	Review of the lecture
4	Epidemiological theory—Designing researchYou will learn principles and methodologies of descriptive and analytical epidemiology and intervention study.	LecturePresentation	Soh	Documentation and presentation
5,6	Oral health care data analysis 2 — Univariate analysisYou will learn Univariate analysis, using the statistical software EZR.	LecturePractice	Soh	Review of the lecture
7	Epidemiological theory—Bias and confoundingYou will learn controlling methods of bias and confounding based on designing research.	LecturePresentation	Soh	Documentation and presentation
8,9	Oral health care data analysis — Multivariate analysisYou will learn multiple liner regression analysis, using the statistical software EZR.	LecturePractice	Soh	Review of the lecture
10	CausalityYou will learn causality based on designing research.	LecturePresentation	Soh	Documentation and presentation
11,12	Oral health care data analysis — Control of confoundingYou will learn control of confounding and interaction, using the statistical software EZR.	LecturePractice	Soh	Review of the lecture
13	Epidemiological theory—Formulating the research hypothesisYou will learn formulating the research hypothesis based on literature research.	LecturePresentation	Soh	Documentation and presentation
14,15	Oral health care data analysis 5 — Relative riskYou will learn relative risk and odds ratio, using the statistical software EZR.	LecturePractice	Soh	Review of the lecture
16,17	Oral health care data analysis — Multiple logistic regression analysisYou will learn multiple logistic regression analysis, using the statistical software EZR.	LecturePractice	Soh	Review of the lecture
18,19	Oral health care data analysis — Cox' s proportional hazard modelYou will learn Cox' s proportional hazard model, using the statistical software EZR.	LecturePractice	Soh	Review of the lecture
20,21	Oral health care data analysis — More complicated modelsYou will learn multilevel model and propensity score, presenting concrete examples.	Lecture	Soh	Review of the lecture
22~29	Health care service evaluation in oral health care policyYou will learn health care service evaluation methods in oral health care policy based on concrete examples.	Practice(Making of the report)	Soh	Submission of the report
30	ConclusionGive a presentation of the report.	Presentation	Soh	Documentation and presentation

2023

Specialized Study for Oral Health (Soh I.)

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized Research)	Credits	12.0
Methods	lesson and seminar	Total time	180.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Soh I.						
Instructor(s)	Soh I.						

Course Description

This course deals with epidemiological and basic statistical knowledge to conduct oral health research. The aim of this course is to help students acquire an understanding of principles and methodologies of epidemiology by lectures, and an understanding of biostatistical concepts by analyzing data, using the statistical software.

Attainment Objectives

By the end of the course, students should be able to do following;(1) Describe and explain the roles and relationships between epidemiology and biostatistics in the prevention of disease and the improvement of health(2) Describe and explain methodologies of descriptive epidemiology for identifying problems and establishing hypotheses(3) Describe and explain methodologies of analytical epidemiology for clarifying risk and protector factors of diseases(4) Describe and explain the concept of confounding(5) Describe research outcome

Textbooks

Title	Author	Publisher
recent papers on your study, searching yourself and instructor		

Reference Books

Title	Author	Publisher

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
presentation	50%
final report	50%

Etc

You can ask your study-counsel before or after the lessons. Email is available at any time.

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1~90	To search literatures on your research Epidemiological theory 1 – Disease frequency, Designing research Epidemiological theory 2 – Bias and confounding, Causality Epidemiological theory 3 – Formulating the research hypothesis Oral health care data analysis To complete your dissertation for master course	lecture literature study polishing of dissertation	Soh I.	literature study Learning material will be distributed in advance.

2023

Specialized Study for Oral Health (Akifusa S.)

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized Research)	Credits	12.0
Methods	lesson and seminar	Total time	180.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Akifusa S.						
Instructor(s)	Akifusa S.						

Course Description

The aim of this course is to study relationship between systemic and oral health status in older adults using epidemiological and statistical methods. And to write dissertation based on the research finding. According to study progress, to present the research findings in academic conferences.

Attainment Objectives

- (1) To study relationship between systemic and oral health status in older adults using epidemiological and statistical methods;
- (2) To conclude investigation(s) of examinations, and submit international scientific journal;
- (3) To present the research results at a conference

Textbooks

Title	Author	Publisher

Reference Books

Title	Author	Publisher
recent papers on your study, searching yourself and instructor		

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
presentation	50%
dissertation	50%

Evaluation
presentation: 50 point
dissertation: 50 point

Etc

Student consultation: at all time

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1~90	To read recent papers regarding to research subject on journal club. To study relationship between systemic and oral health status in older adults using epidemiological and statistical methods. To complete your dissertation for master course	epidemiological study literature study polishing of dissertation	Akifusa	literature study acquisition of lab technique

2023

Specialized Study for Oral Health (Sonoki K.)

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized Research)	Credits	12.0
Methods	lesson and seminar	Total time	180.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Sonoki Kazuo						
Instructor(s)	Sonoki K. Sonoki Kazuo						

Course Description

To find out the relationship between the oral status (periodontal disease, number of persistent teeth, etc) and systemic status (atherosclerosis, diabetes mellitus, etc), conduct the clinical research using the data base constructed by the dental and physical examinations on local residents and patients or the basic research using cultured cells.

Attainment Objectives

1. understand the methods of epidemic research including statistical analysis
2. find out the theme of clinical or basic research, design the research methods, conduct research and summarize the results by myself
3. find out and understand the important articles to progress own research
4. discuss the research results and present them in the conference
5. summarize the research findings in an article and submit it to the academic journal

Textbooks

Title	Author	Publisher
relevant articles which are distributed from the instructor or founded by myself		

Reference Books

Title	Author	Publisher

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
presentation	50%
research report	50

Etc

[Office hour] anytime by e-mail.

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1	<ul style="list-style-type: none"> • choose one research type from basic or clinical research to clarify the relationship between oral status and systemic status • collect articles related with research theme and explain them • make a research plan and conduct it • report the progress • write a research report and present it in the thesis defense 	lecture, discussion of articles, coach for experiment, analysis and writing a paper	Sonoki K	<p>【prior study】 search and understand articles, summarize the results</p> <p>【post study】 feedback into own research</p>

2023

Specialized Study for Oral Health (Tsujiisawa T.)

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized Research)	Credits	12.0
Methods	lesson and seminar	Total time	180.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Tsujiisawa T						
Instructor(s)	Tsujiisawa T.						
	Tsujiisawa T.						

Course Description

Perform studies on oral health and Nutrition to contribute to health.

Attainment Objectives

- The ability to
1. explain logically
 2. understand and summarize the principles and interpretation of results for survey methods and experimental procedures
 3. find and understand important treatises in advancing research.
 4. prepare and perform presentation of research results

Textbooks

Title	Author	Publisher
Scientific papers which related to your studies		

Reference Books

Title	Author	Publisher

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
presentation	50%
report	50%

Evaluation by presentation and report.

Etc

Consultation is accepted at any time.

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1?90	<ul style="list-style-type: none"> • To search and read the research papers. • To plan and do the research program. • Scientifically analyze the results • To make reports, presentation documents, and articles 	<ul style="list-style-type: none"> • Reading papers • Planning • Experiment/Practice • Writing papers • Discussion 	Tsujiisawa	<ul style="list-style-type: none"> • Searching and reading research papers • Documentation and

2023

Specialized Study for Oral Health (Nakamichi A.)

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized Research)	Credits	12.0
Methods	lesson and seminar	Total time	180.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Nakamichi A.						
Instructor(s)	Kokabu S., Tsujisawa T., Nakamichi A.						

Course Description

Perform a study on oral health to contribute to health.

Attainment Objectives

The ability to : (1) find out expedient literatures and understand them; (2) planning of research; (3) practice of research for oral health ; (4) present the research results at a conference ;

Textbooks

Title	Author	Publisher
Recent papers on your study, searching yourself and instructor		

Reference Books

Title	Author	Publisher

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
Presentation	50%
Paper	50%

Etc

Consultation is accepted at any time.

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1~90	<ul style="list-style-type: none"> To search literatures on your research. To make plan of research. To practice research. To perform presentation at a conference. Paper 	reading a paper, practice, presentation	NakamichiKokabuTsujisawa	Searching a paper, studying a paper, report

2023

Specialized Study for Oral Health (Fujii W.)

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized Research)	Credits	12.0
Methods	lesson and seminar	Total time	180.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Fujii. W						
Instructor(s)	Fujii W.						
	Fujii. W						

Course Description

Clinical research and investigative research on the effect of dental intervention including oral management of dysphagia patients.

Attainment Objectives

To ability to : · logically explain the research content · understand and summarize the interpretation of its principles and results about research methods and experimental techniques · find out expedient literatures and understand them · examine research results and present them at a conference and organize research results in a paper and submit them to a journal

Textbooks

Title	Author	Publisher
recent papers on your study, searching yourself and instructor		

Reference Books

Title	Author	Publisher

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
presentation	50%
paper	50%

Presentation and paper will be evaluated by the pre-presented rubric

Etc

Consultation is accepted at any time

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1~90	· collecting, reading and discussing the expedient literatures · design the research plan · review the results · organizing research results and writing a paper	LecturePractice	Fujii	· Searching and reading research papers · Documentation and

2023

Specialized Study for Oral Health

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized Research)	Credits	12.0
Methods	lesson and seminar	Total time		Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Funahara M.						
Instructor(s)	Funahara M.						
	Funahara M.						

Course Description

This course focuses on clinical research into oral management methods aimed at preventing oral-related adverse events in acutely acute patients and the elderly.
The attainment target is to plan, do, study, and act on new insights of oral science or oral care.

Attainment Objectives

Students will provide scientific evidence for their oral management strategies for acute patients or the elderly by their research.

Textbooks

Title	Author	Publisher

Reference Books

Title	Author	Publisher

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
report	50%
presentation	50%

Evaluate presentations and reports.

Etc

Student consultation: any time

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1~90	<ul style="list-style-type: none"> To understand the latest findings in oral medicine or oral science. To search and read the research papers. To analyze and consideration research results To plan and do the research program. Documentation and presentation [Prior learning] Ask educators in advance.	<ul style="list-style-type: none"> Reading papers Planning Practice Writing papers 	Funahara M	<ul style="list-style-type: none"> Searching and reading research papers Documentation and

2023

Specialized Study for Oral Health

Grades	1-2 grades	Semester (or Term)	2nd to 3rd semester	Subject	Elective (Specialized Research)	Credits	12.0
Methods	lesson and seminar	Total time	180.00	Day		Period	
Course Affiliation	Department of Oral Health Sciences						
Responsible Instructor	Izumi M.						
Instructor(s)	Izumi M.						

Course Description

The aim of this course is to study on influence of oral health care on general health, using epidemiological research methods and statistical methods.

Attainment Objectives

To search literatures on your research
To make plan of research
To conduct epidemiological research.
To elucidate using statistical methods
To present the research results at a conference

Textbooks

Title	Author	Publisher
Literature and References in Related Fields		

Reference Books

Title	Author	Publisher

Grading Criteria and Method of Evaluation

Evaluation item	Ratio
presentation	50%
paper	50%

evaluation based on graduate school rubric assessment criteria.

Etc

Student consultation: Any time, mail

Study Method

Lecture	Contents	Methods	Instructor	before-and-after Learning Task
1~90	<ul style="list-style-type: none"> To search literatures on your research. To make plan of research. To create an ethics review application. To conduct epidemiological research. To elucidate using statistical methods. To present the research results at a conference. 	examination literature study polishing of dissertation	izumi	Searching a paper, studying a paper, report

